

(1) 定量分析結果 [%]

試料	成分	SiO ₂	Fe ₂ O ₃	Al ₂ O ₃	TiO ₂	CaO	MgO
No. 1		71.03	3.64	20.10	0.465	0.405	0.892
No. 2		68.93	7.19	17.82	0.465	0.579	0.732

* No. 1 については、螢光X線・粉末X線回折法や岩石学的方法による分析結果も得ている。

(2) 粉末X線回折法による定性分析結果

試料	検出鉱物				
	Q	C	M	A	F
No. 1	++	++	+		
No. 2	++				+

第1図

Q : 2 - Quartz (SiO₂) C : 2 - Cristobalite (SiO₂)
M : Mullite (3 Al₂O₃ · 2 SiO₂) A : Albite (NaAlSi₃O₈) F : Feldspar group
検出鉱物については、昇進線の強度の順位を十、一で表わし、およそその目安とした。
測定条件 材料板: Cu フィルター: Ni 電圧: 35kv 電流: 20mA
時間: 1/sec カウントフルスケール: 200cps 検出器: シンチレーションカウンター

(備考) No. 2 (土器) についての粉末X線回折法による検出鉱物のうち、マークオーフの存在は明らかである。その他に、何れかの長石、又はその混合物が含まれると考えられるが、明確なピークが得られないために、その鉱物名を特定することができず、長石群 (Feldspar Group) とした。
なお、粉末X線回折法による定性分析結果については、参考のため、測定チャートの写しを添付した。(第1図)

(3) 螢光X線による出土土器の分析結果

1) 試料

(岩手県立博物館)

本遺跡出土の試料7点について岩手県立博物館に螢光X線分析を依頼した。分析に供した試料は、

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| No. 1. 酸化焰焼成の非クロロ壺片(球胴形を呈す) | 5号 (Cg06) 壁穴住居跡 (O-1) |
| No. 2. 酸化焰焼成のロクロ成形環(本遺跡でC類としたもの) | 47号 (Pd15) 壁穴住居跡 (O-2) |
| No. 3. 酸化焰焼成のロクロ成形環(〃 B類 〃) | 47号 (Pd15) 壁穴住居跡 (O-3) |
| No. 4. 還元焰焼成のロクロ高台環(A類の範疇) | 10号 (Eb03) 壁穴住居跡 (O-4) |
| No. 5. 還元焰焼成のロクロ成形環(本遺跡でA類としたもの) | 32号 (Lc33-2) 壁穴住居跡 (O-6) |
| No. 6. 還元焰焼成の長頸壺 | 25号 (Jj12) 壁穴住居跡 (O-7) |
| No. 7. 還元炉壁片 | 31号 (Lc33-1) 壁穴住居跡 |

等である。このうちNo. 1～6については、照井一明氏による“土器胎土の岩石学的方法による分析結果”も同時に得ている。右端に記したO-1～O-7の記号がそれに相当する。また、No. 6については岩手県工業試験場から“定量分析結果”、“粉末X線回折法による定性分析結果”等を得ている。試料No. 1がそれである。併して参考頂ければ幸いである。

2) 測定方法

土器片の不純な表面をタンゲステンカーバイト製のグラインダーを用いて削り落し、新鮮な切片だけを取出したものとそのまま試料とし分析に供した。

なお、測定条件は次に示す通りである。

対陰極	W
電流・電圧	50KV-50mA
Full Scale	2×10^4 CPS
分光結晶	LIF EDDT
時定数	0.2 sec
検出器	シンチレーションカウンター、プロポーショナルカウンター

(微量元素については、Full Scale 1×10^4 cps、時定数 1 sec にて測定を行った)

分析結果については、別表及びチャートを参照されたい。

表1 分析結果

No.	検出元素															
	Al	Si	K	Ca	Ti	Cr	Mn	Fe	Ni	Cu	Zn	Rb	Sr	Zr	Br	Ba
1	0	0	0	0	0	tr	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0
2	0	0	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0
3	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
4	0	0	0	0	0	tr	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0
5	0	0	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	—	—
6	0	0	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0
7	0	0	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0

4. 鉄滓・鉄製品の分析結果

3点の試料についての分析結果である。試料No.1は46号(Oi33)堅穴住居跡出土の鉄滓、No.2は33号(Li21)堅穴住居跡出土の器種不明鉄製品、No.3は39号(Me27)堅穴住居跡出土の鉄鎌である。なお、No.2については、紡錘車の一部に相当すると思われる。

(1) 定量分析結果

表1 定量分析結果[%]

試料	total Fe	MnO	SiO ₂	TiO ₂	C
No.1	46.57	0.064	25.76	0.340	0.14
No.2	58.09	0.013	6.99	0.084	0.63
No.3	61.78	trace	3.39	0.268	0.81

(2) 定性分析結果

表2 蛍光X線による定性分析結果

試料	検出元素						
	Al	Si	K	Ca	Ti	Mn	Fe
No.1	○	○	○	○	○	○	○
No.2		○	○	○	○		○
No.3		○			○		○

[測定条件] 対陰極: Cr(軽元素)・W(重元素)

分析結晶: EDDT(軽元素)・LiF(重元素)

電圧: 50kv 電流: 40mA 時定数: 1/sec

カウントラスケール: 10 cps(軽元素) - $10^4 \times 2$ cps(重元素)

検出器: シンチレーションカウンター

表3 粉末X線回折法による定性分析結果

試料	M	G	W	F	Q
No. 1			++	+	+
No. 2	+++	++			+
No. 3	++	+			

M : Magnetite (Fe_3O_4) G : Goethite ($Fe_2O_3 \cdot H_2O$)W : Wustite (FeO) F : Fayalite (Fe_2SiO_4) Q : α -Quartz (SiO_2)

検出鉱物については、最強線の強度の順位を+++、++、+で表わし、おおよその目安とした。

(測定条件) 対陰極: Fe フィルター: Mn 電圧: 25kV 電流10mA

測定数: 1 sec カウントフルスケール: 1000cps 検出器: レンザーレンガウンター

(備考) 粉末X線回折法による定性分析結果について、参考のために測定チャートの写しを添付した(第1図)。

5. 木炭について

7号(Pb33)竪穴出土の炭化材について、岩手県木炭協会経営指導員・早坂松次郎氏に依る肉眼的観察結果を得ている。

同氏に依れば、1図の炭化材はナラを原料としており、そのあり方は(1)製品化された木炭である:(2)燃焼時に於いて還元状態に陥入った結果木炭化したものとの二様が考えられるとしている。(1)については、使用目的があつて製品化された木炭のことであり、(2)は焼失遺構・焚火等の段階で土砂がかぶさり、結果として還元化された木炭になったもののことである。

本遺構内では、焼失遺構或いは焚火等の存在を想定し得る根拠はなく、また遺構内の炭化材がある程度のまとまりを持っていることなどからみて、(2)に依る可能性は少なく、(1)に依る結果と理解している。従って、7号遺構は木炭置場のような使われ方をしたものであろうとの解釈も可能である。若しそうであるとするならば、炉壁や鉄滓が出土する遺構の近辺にあることから、製鉄等に関わる遺構の一部を構成するものとみることも可能であろう。



6. 種子について (1図・表1)

種子については、村井三郎氏に依る種同定の結果を得ている。何れも桃の種子であり、現在種と同様のものである。

表1 種同定試料一覧表

試料No.	出 土 地 点	備 考
1	N 351 ~ 253 トレンチ 1層	桃
2	N 351 ~ 253 トレンチ 2層	桃
3 - 1	3号 (Ed56) 方形竪穴状遺構 3層	桃
3 - 2	3号 (Ed56) 方形竪穴状遺構 3層	桃
3 - 3	3号 (Ed56) 方形竪穴状遺構 3層	桃
4 - 1	3号 (Ed56) 方形竪穴状遺構 3層	桃
4 - 2	3号 (Ed56) 方形竪穴状遺構 3層	桃



図 種子写真図

7. ^{14}C 測定結果

炭化材の ^{14}C 測定は、昭和56年5月9日を以って日本アイソトープ協会に依頼しており、その結果については、昭和57年1月23日に收受している。

二棟の竪穴住居跡と焼土遺構から各1点、合計3点の炭化材が試料である。各々の試料は、調査時点で取上げた後、密閉されたプラスチック製の容器或いはビニール袋に入れられ、本課で保管していたものである。プラスチック製容器内には脱脂綿が敷きつめられ、木炭はそれに包まれる形にあった。ビニール袋の方は気密性に欠け、湿気を滲びていた。なお、バインダー等の処理は特に加えられていない。但し、遺物採取から測定依頼までは約3年位の年月が経過している。

日本アイソトープ協会に依る ^{14}C 測定結果は下記の通りである。

依頼者のコード	出土地点・層位・等	測定結果
8-1	56号 (Rh06) 竪穴住居跡・床面	$1050 \pm 60 \text{yB. P.}$ ($1020 \pm 55 \text{yB. P.}$)
8-2	14号 (Fe06) 竪穴住居跡・床面	$1130 \pm 60 \text{yB. P.}$ ($1100 \pm 60 \text{yB. P.}$)
8-3	20号 (Bd68-3) 焼土遺構・焼土上	Modern

8-1の換算年代はA.D. 900年であり、誤差を加減して算出すると840~960年内に求められる。同様にして8-2はA.D. 820年、760~880年内に求められる。これらについては、本遺跡の編年観に近い測定結果であると解釈している。一方、8-3はビニール袋に入っていた炭化材であり、焼土遺構の性格そのものも不明であったことから、試料の選択に適切性を欠いていたことは否めない。

付記

TH II-001竪穴住居跡（付図2 第1・2図 写真図版50・77）

調査対象範囲の最南端（付図2）で検出された竪穴住居跡で、位置的に竹花前遺跡^{II}と関連する遺構であり標記の名称を付した。

（重複 改築） 重複ではなく、カマド移築の可能性がある。

（規模 平面形 方向） 東西2.75m、南北2.85m、面積7.02m²の規模で、ほぼ正方形の平面を呈する。現存カマド方向軸はN-82°-Eである。なお、想定される南カマドの方向軸は明らかでない。

（堆積土） カマド堆積土以外、主体は4層の黒褐色土である。1層の暗褐色土等の介在はあるが、4層はほぼ全面に堆積をみる。

（壁） やや外傾する立ち上がりで検出面までの高さは12cm～18cmほどを計る。

（床） 地山シルト面を利用するもので若干の起伏がある。

（柱穴） P₃・P₄の小ピットを認めるが柱穴として確証はできない。

（周溝） 認められない。

（カマド） 南壁東端もしくは東南隅にカマドが施設されたことも想定される。すなわち、断面E-F、G-Hの8層下に若干のくぼみをもち火熱痕があることと、南壁東半にシルトによる袖様の残痕からである。煙道・煙出し等は認められず、現存するカマドの削平状況と考え合わせると削平も想定できるが明らかでない。

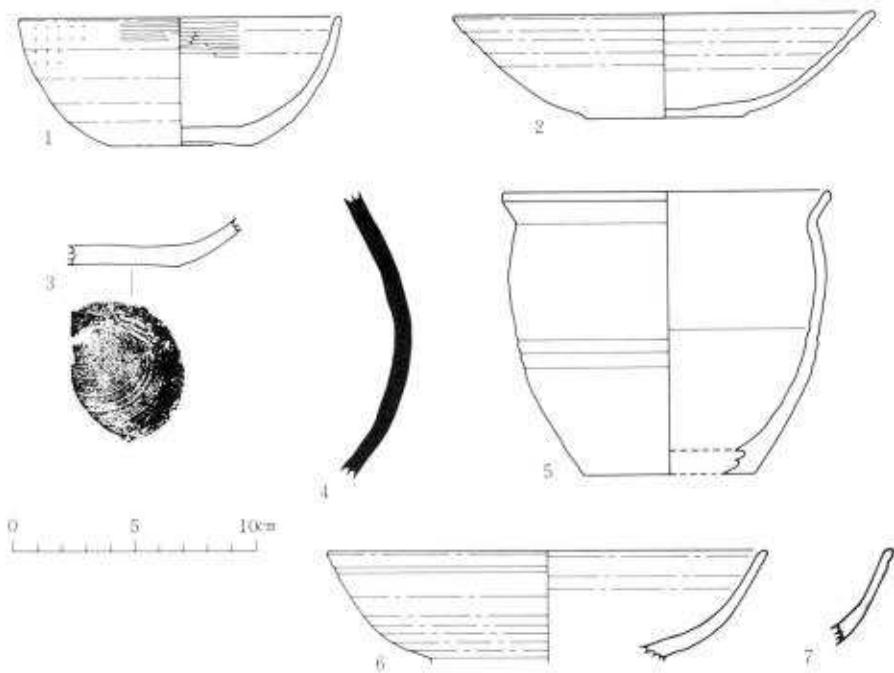
現存するカマドは、燃焼部が壁外まで張り出し、開口約55cm、奥行約70cmを計る。火床に若干のくぼみをみるが掘り方による構築ではない。袖はシルトと黒褐色土で構築される。煙道は削平によってほとんど残存しないが、約45cm東へのび煙出しに達するもので、先端の煙出しは30cm×35cmの梢円の平面で検出面からの深さは約10cmを計る。

（その他の施設） 貯蔵穴様ピットが2ヶある。P₁は55cm×60cm、深さ22cm、P₂は30cm×48cm、深さ10cm規模である。

出土遺物

壺形土器は底部片を含めて3点ある。何れも回転糸切無調整による切離しである。A類は含まれない。No 4は中型甕の体部片、還元焰焼成によるものであるか印目等はみられない。No 5はロクロ成形の小型甕、酸化焰焼成による。橙色を呈し、軟質である。No 6は緑釉陶器片、台付の皿形陶器である。No 7も緑釉陶器片であるがNo 6とは別個体のものである。これらについての詳細は、IV-(3)項を参照されたい。

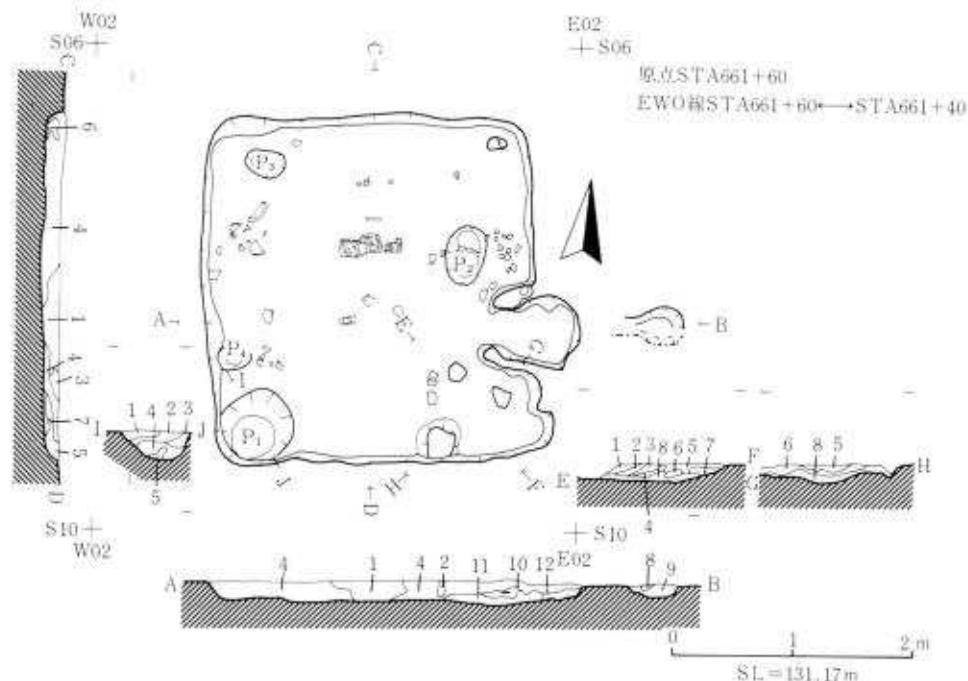
年代的には、太田方八丁遺跡より新しい時期であり、隣接する竹花前遺跡^{II}に包括されるべき



第2図 出土遺物実測図

遺構である。

注1・2 首花前遺跡 岩手県文化財調査報告書第54集所収 昭和55年3月

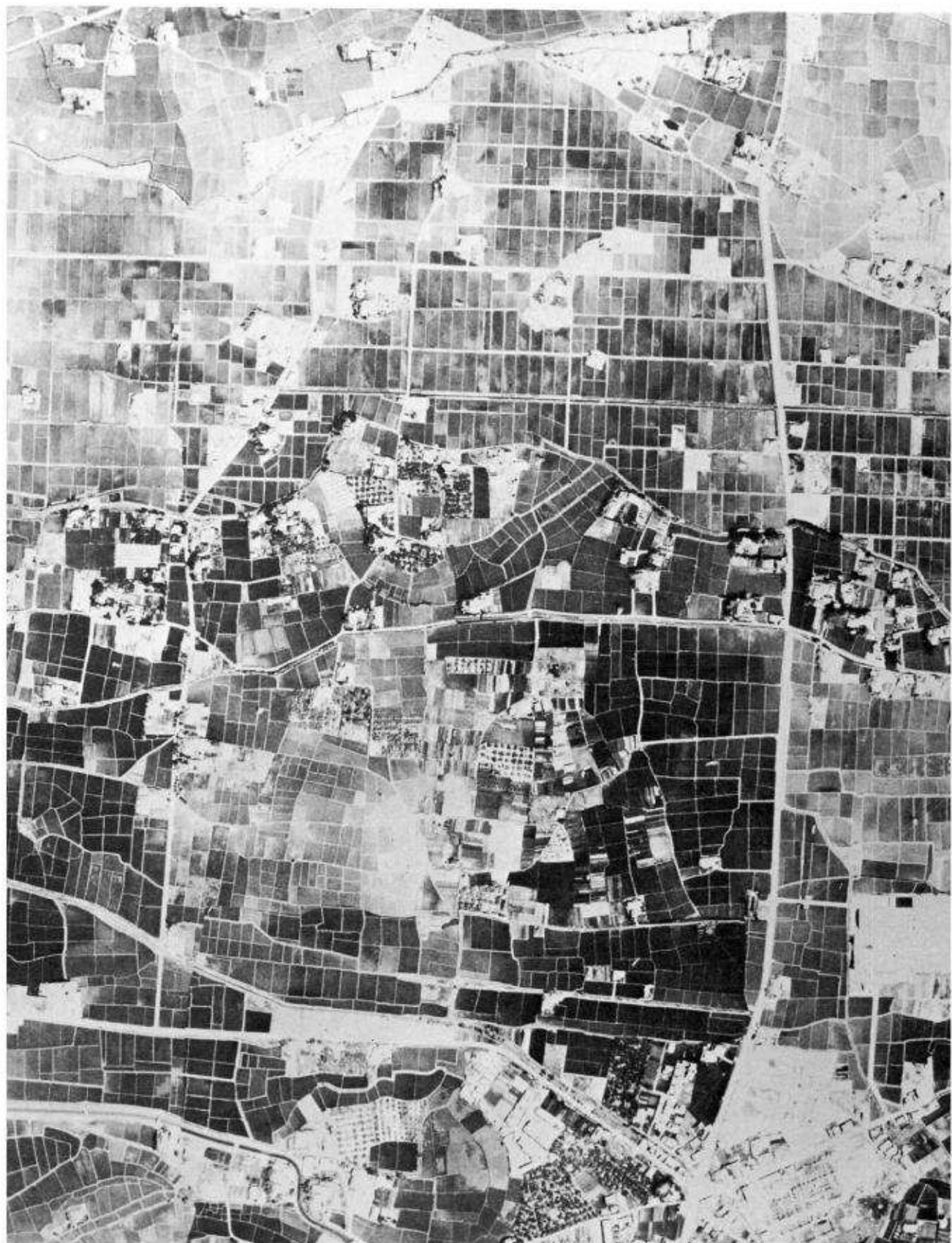


1	7.5YR 4/2	暗褐色土	シルト黒褐色土混合土
2	7.5YR 4/2	褐色シルト	
3	7.5YR 4/2	黒褐色土	燒土ブロックを含む
4	7.5YR 4/2	" "	シルト混入。炭、燒土ブロック、土器片若干
5	7.5YR 4/2	暗褐色土	シルト黒褐色土混合土、地力あり、炭若干
6	7.5YR 4/2	褐色シルト	
7	7.5YR 4/2	黒褐色土	
8	7.5YR 4/2	褐色細砂	
9	7.5YR 4/2	黒褐色土	シルト焼土混合。炭、土器片若干
10	5YR 4/2	褐色赤褐色土	地上黒褐色土混合、土器片、炭あり
11	5YR 4/2	暗褐色土	燒土シルト黒褐色混合、特にシルト多く
12	5YR 4/2	黒褐色土	シルト焼土混入。炭若干

1	7.5YR 4/2	暗褐色土	シルト黒褐色土混合。炭、土器片若干
2	7.5YR 4/2	褐色赤褐色土	シルト焼土黒褐色泥土、炭を含む。土器片あり
3	7.5YR 4/2	褐色シルト	黒褐色土出入。炭、燒土ブロック若干
4	7.5YR 4/2	暗赤褐色土	黒褐色土シルト混合、燒土、炭を含む
5	7.5YR 4/2	暗褐色土	*
6	7.5YR 4/2	褐色シルト	焼土ブロック、炭若干
7	7.5YR 4/2	" "	黒褐色土混合
8	7.5YR 4/2	暗褐色土	黒褐色土シルト混合、炭、土器片あり。層下火熱面あり
1	5YR 4/2	黒褐色土	シルト混入
2	7.5YR 4/2	" "	" " 燃土ブロック、炭若干
3	7.5YR 4/2	褐色丸山灰	
4	7.5YR 4/2	黒褐色土	シルト混入
5	7.5YR 4/2	褐色細砂	

第1図 THII-001堅穴住居跡

写 真 図 版



遺跡全景

写真図版 |



調査区全景 南から



調査区南辺外郭付近 東から



南辺外郭



築地と内外溝
東から



寄柱
掘り方断面



寄柱
掘り方断面

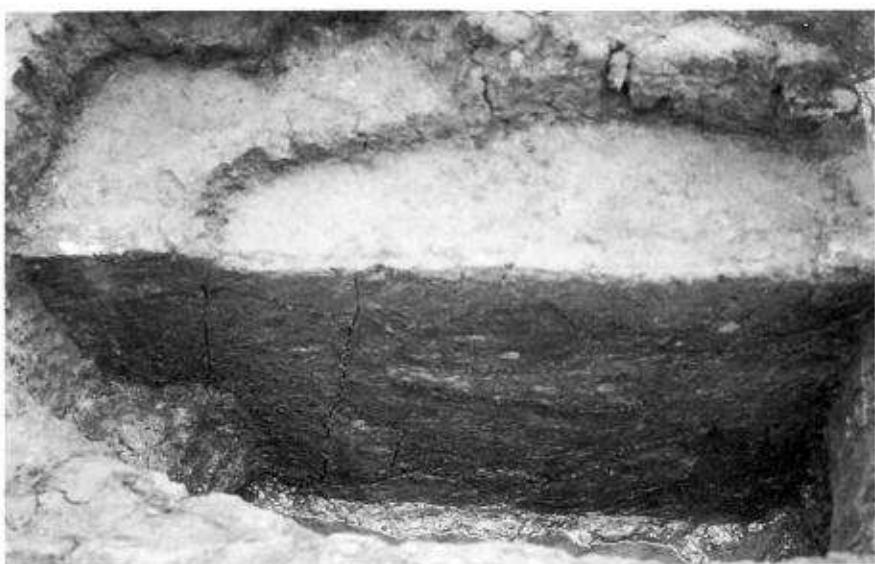
橋

北から



橋掘り方断面

No. 1



橋掘り方断面

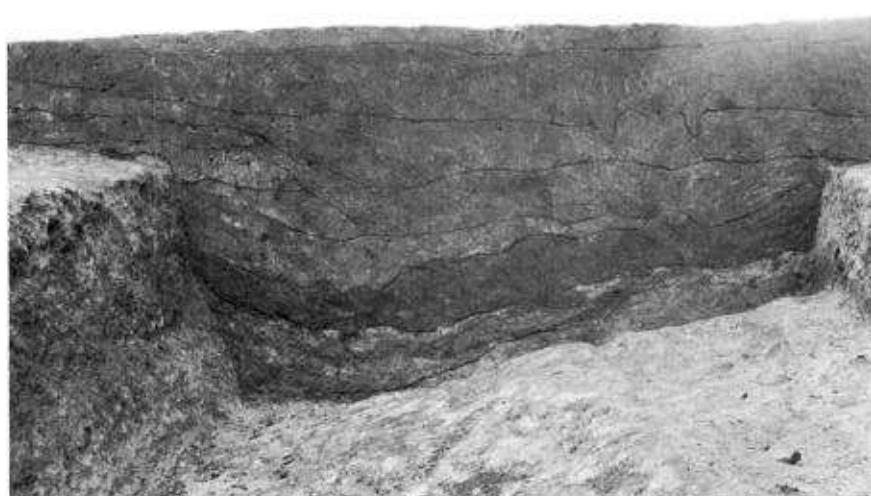
No. 4



横掘り方断面
No. 5



築地内溝断面
A - B



築地外溝断面
A - B



築地内溝と小溝

東から



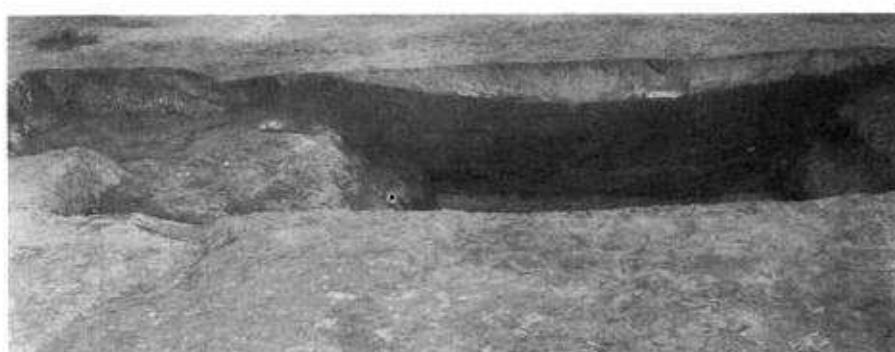
築地内溝断面

C-D



築地外溝断面

C-D



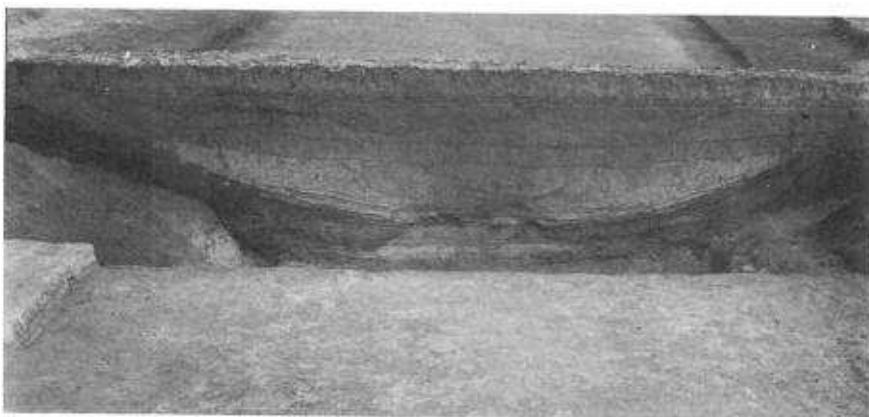
南（外）大溝

西から

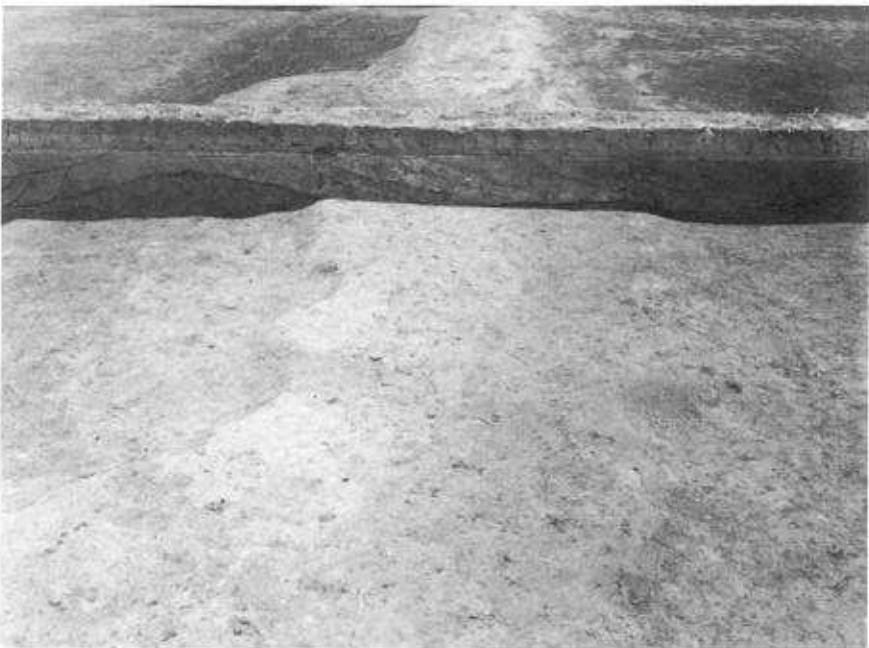




南(外)大溝断面
A - B



南(外)大溝断面
C - D



土壙(?)状遺構
断面

1号住 北から

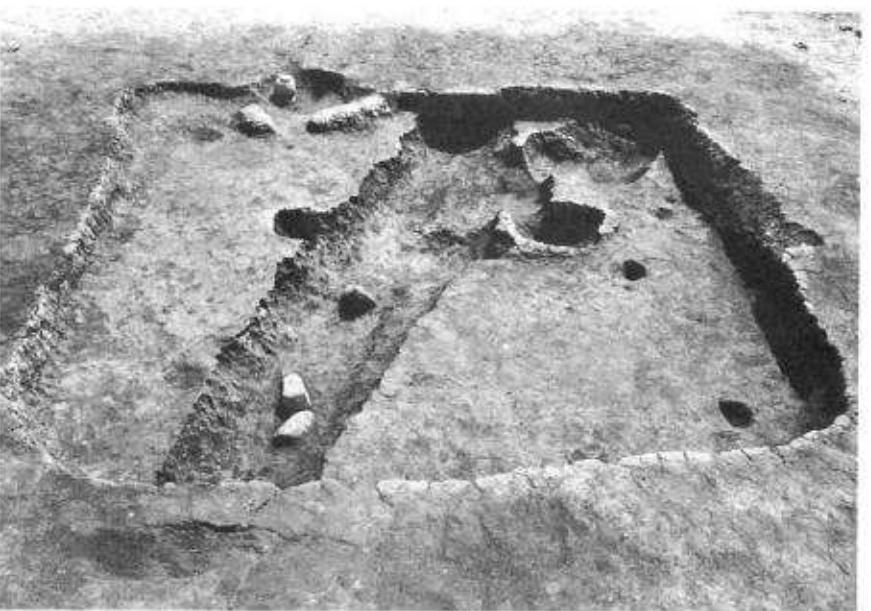


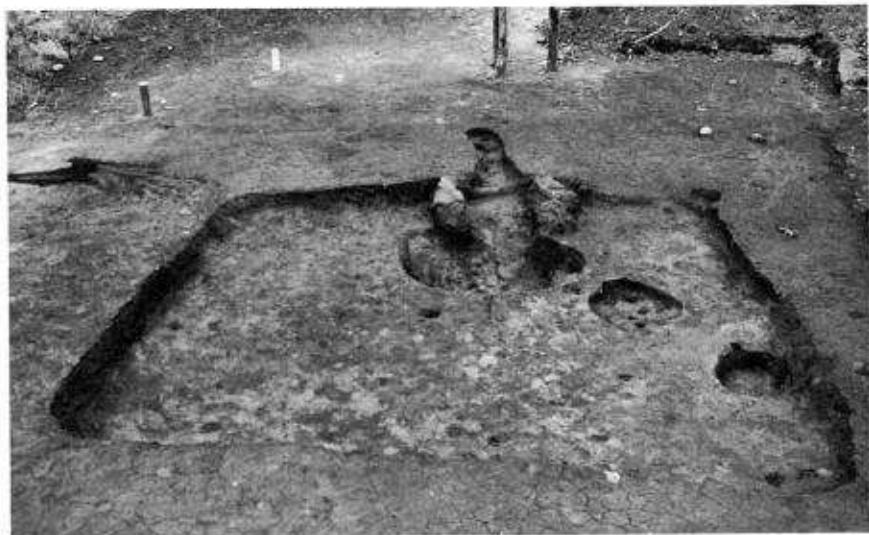
2号住 北から



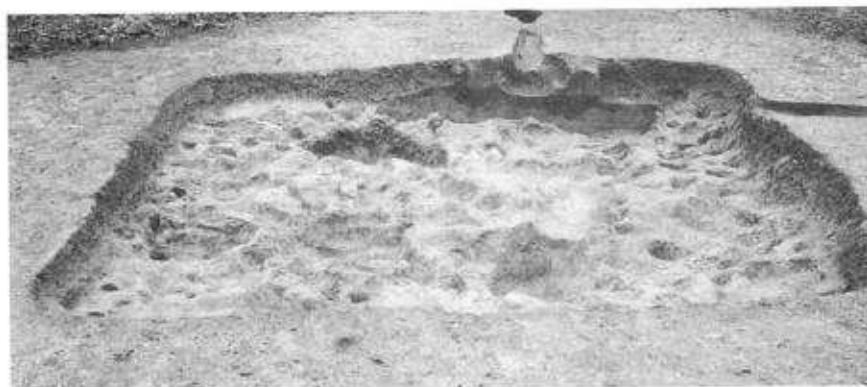
3号住 西から

1号溝





4号住 南から



5号住 南から



5号住

No.2 カマド

6号住 南から



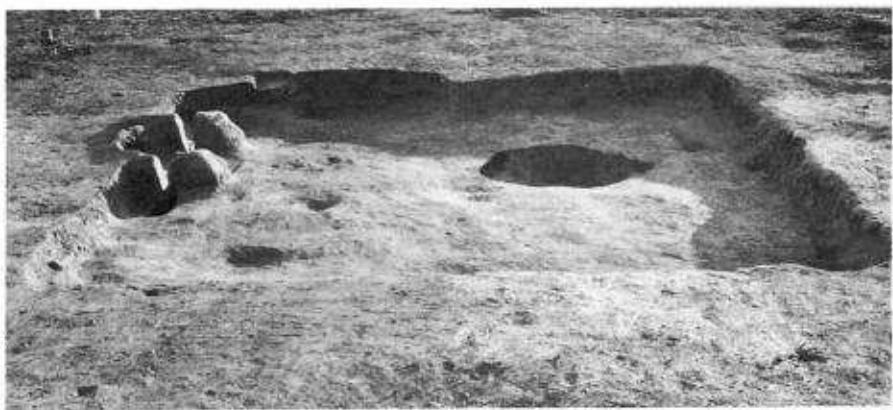
7号住 西から



7号住 カマド



8号住 北から





9号住 西から



10号-1・2住
南から



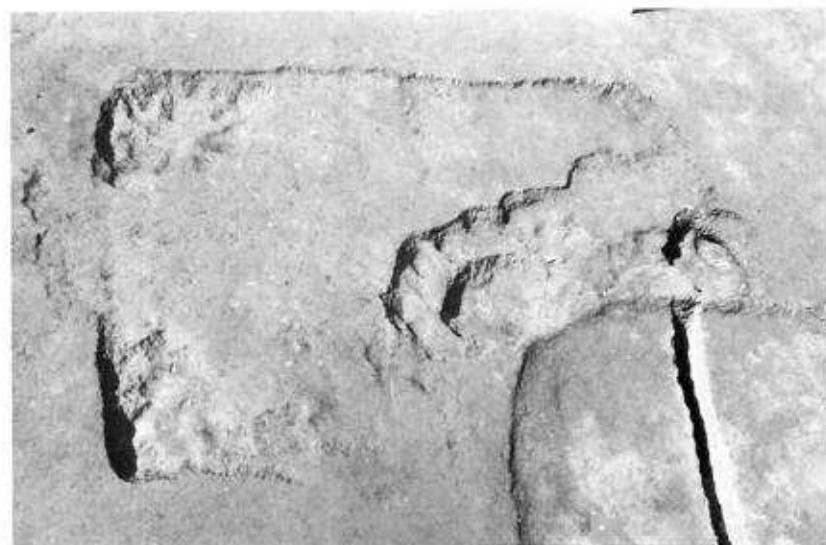
10号-1住
カマド



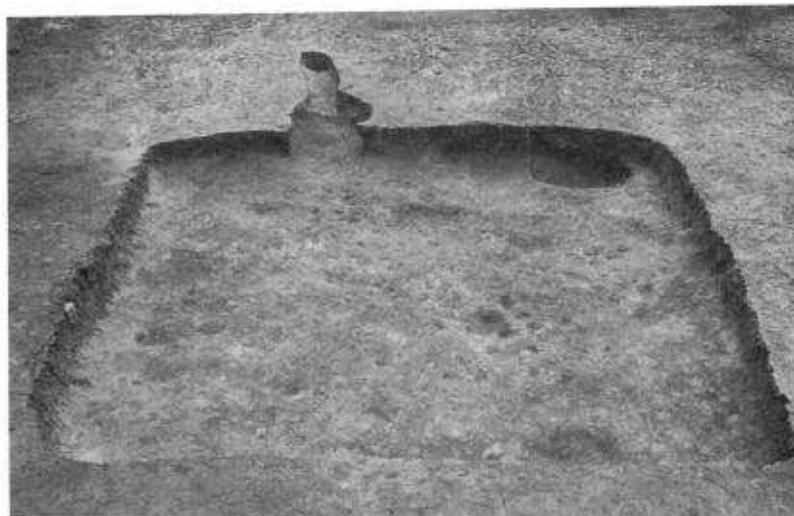
11号住 西から
2号溝



12号住 東から



13号住 南から



14号住 西から

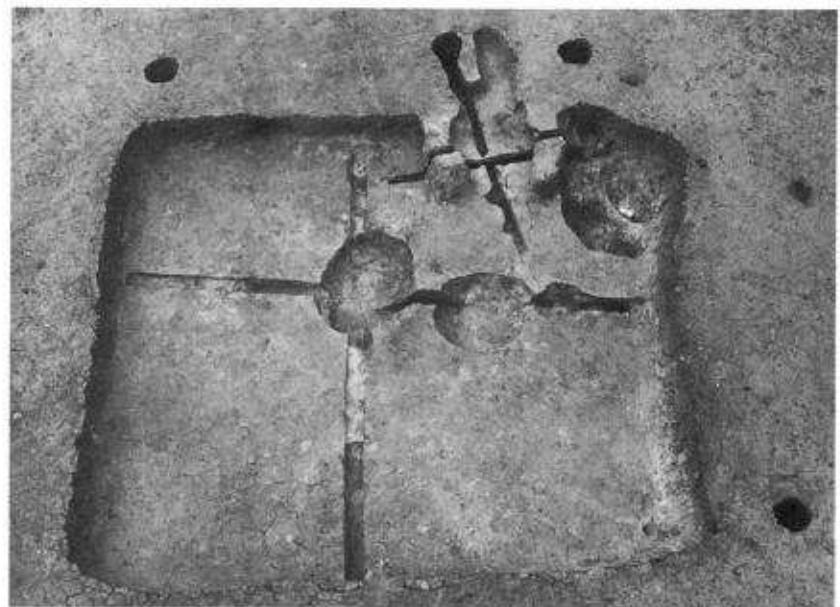


14号住 カマド

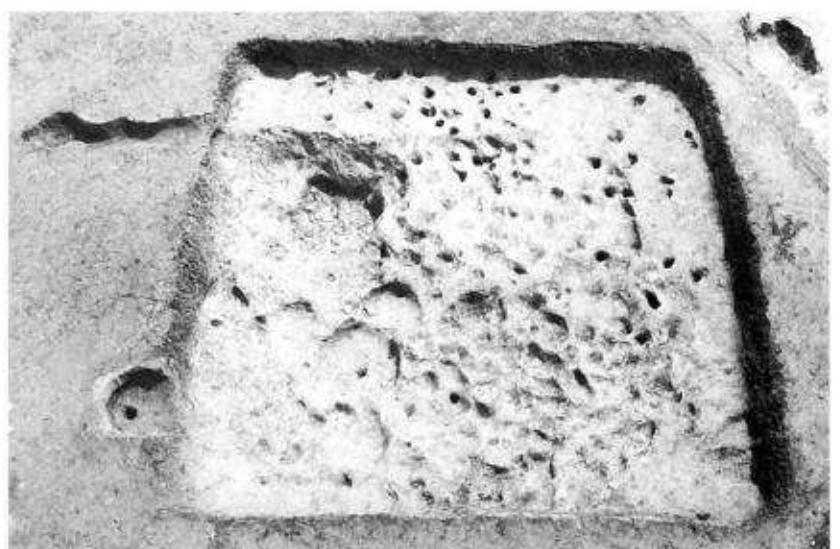


15号住 北から

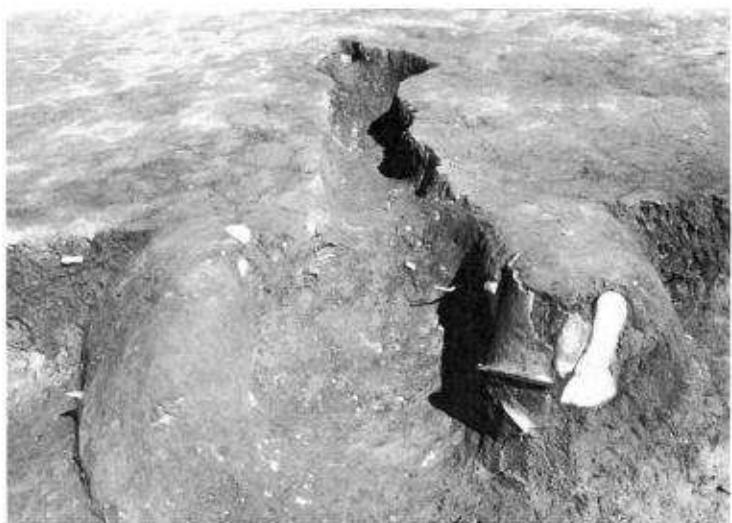
16号住 北から

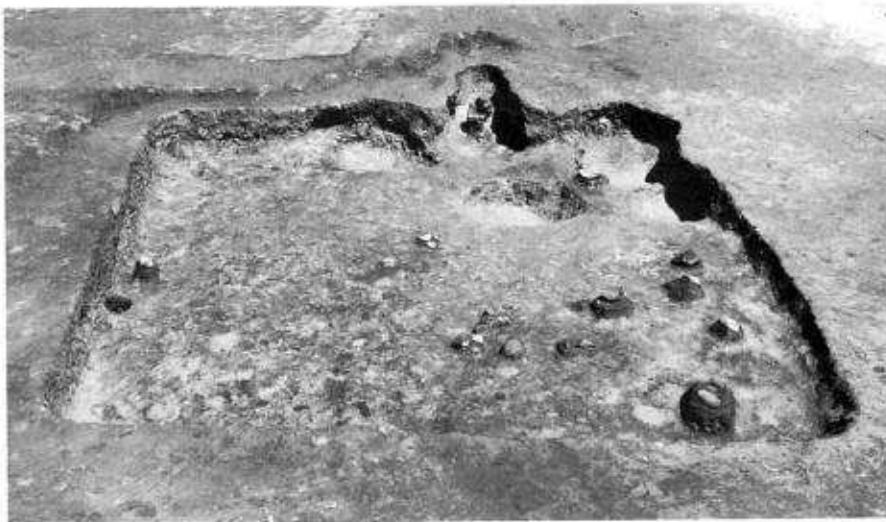


17号住 北から

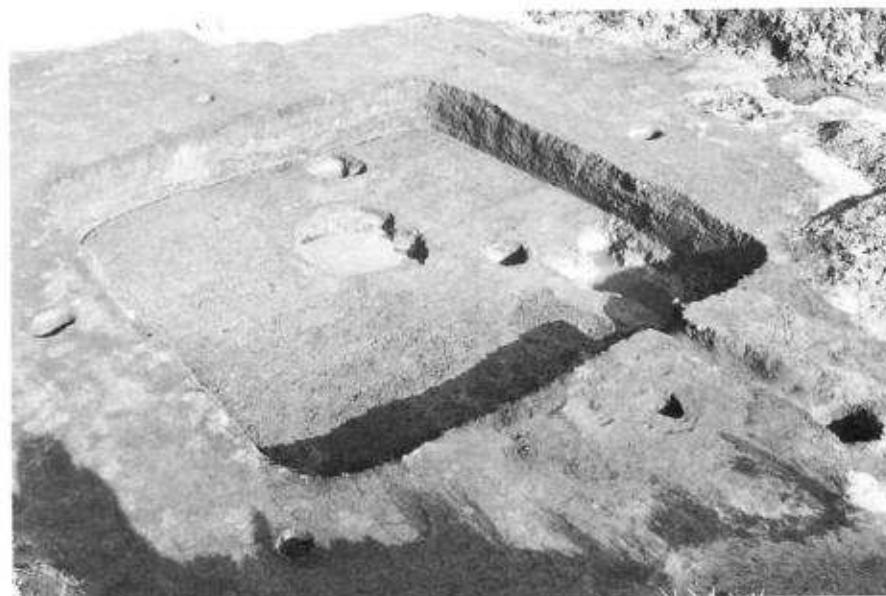


17号住 №2 カマド





18号住 西から

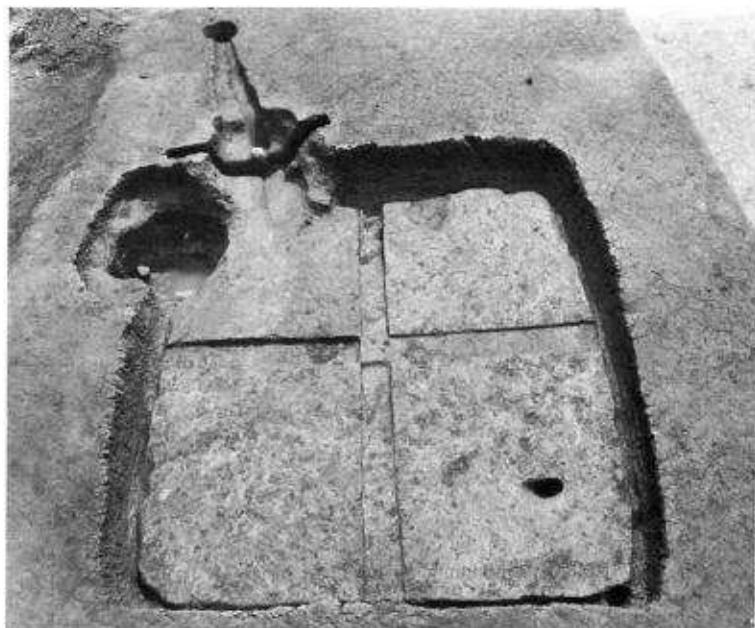


19号住 北西から

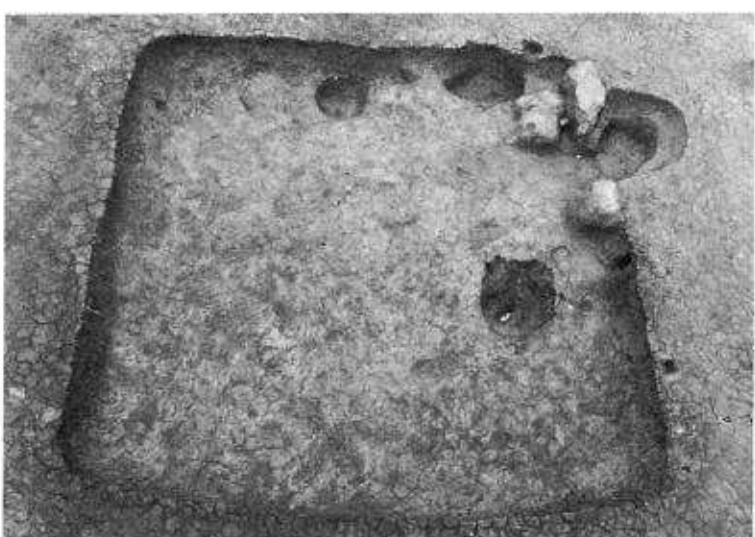


19号住
遺物出土状況

20号住 西から

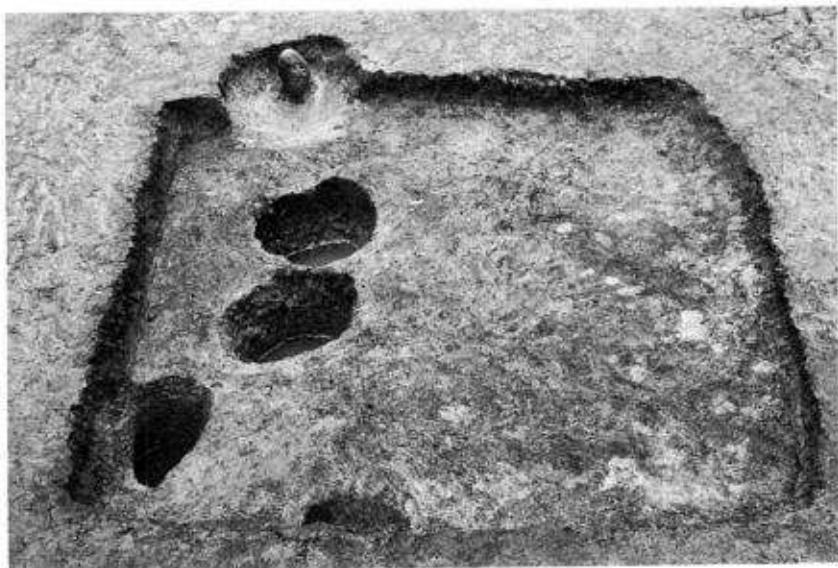


21号住 西から



22号住 東から



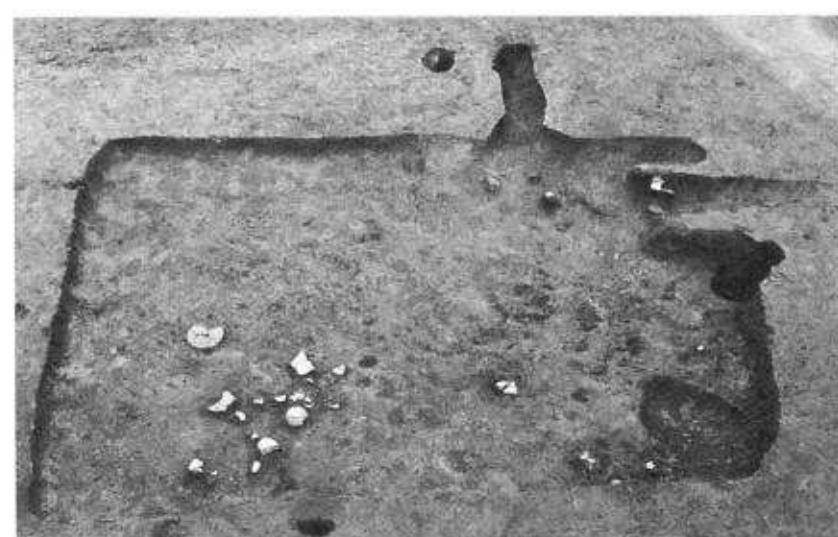


23号住 西から



24号住 東から

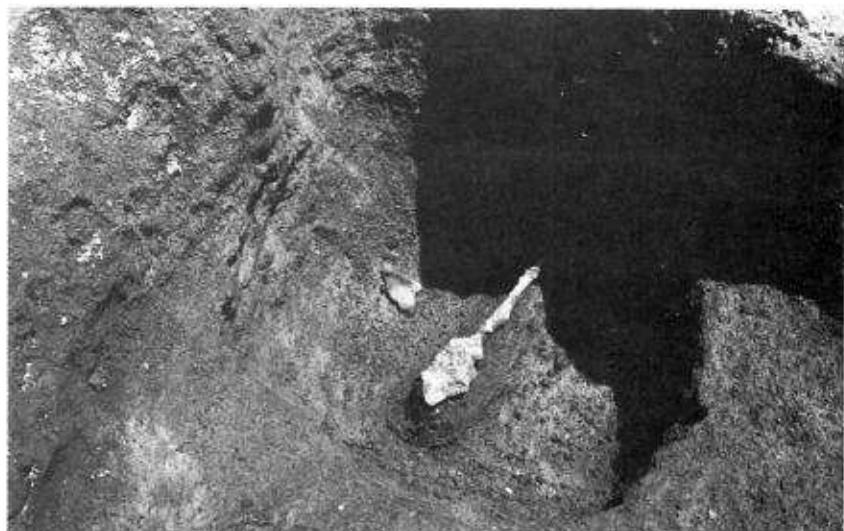
1号 積穴



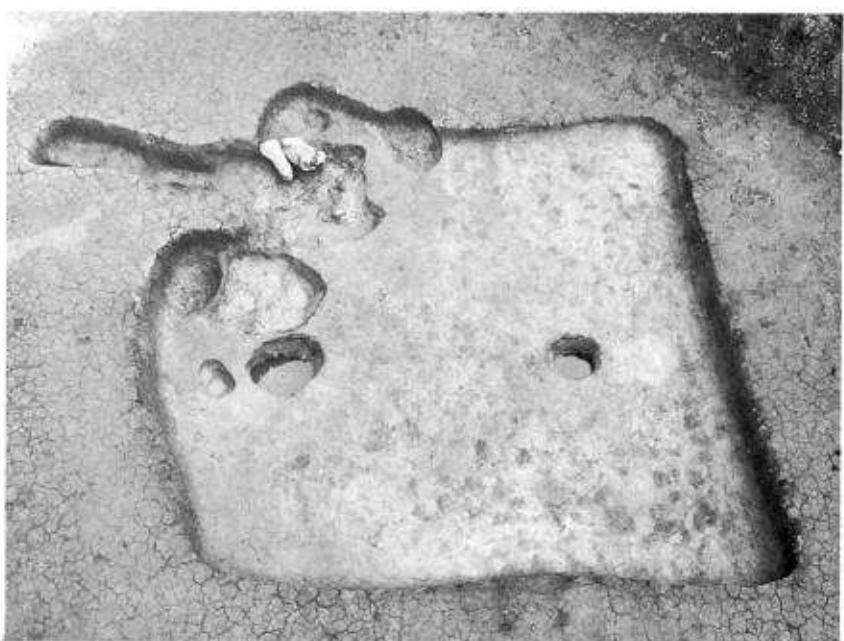
25号住

25号住

鉄鍔出土状況

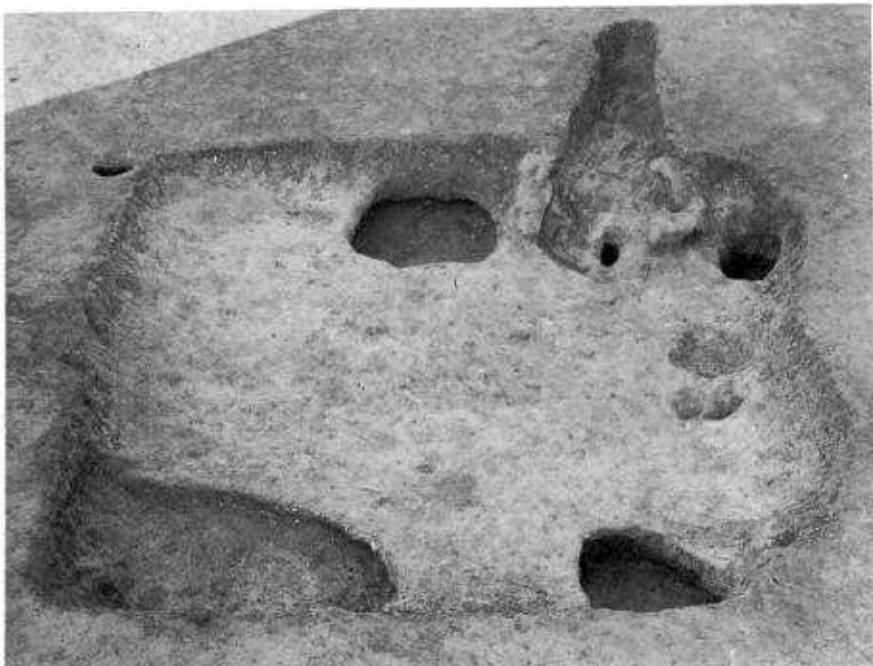


26号住 北から



26号住 カマド





27号住 南から



28号住 西から

左 29号住
右 1号竪穴
北から



29号住
遺物出土状況



左 31号住
右 32号住
南から

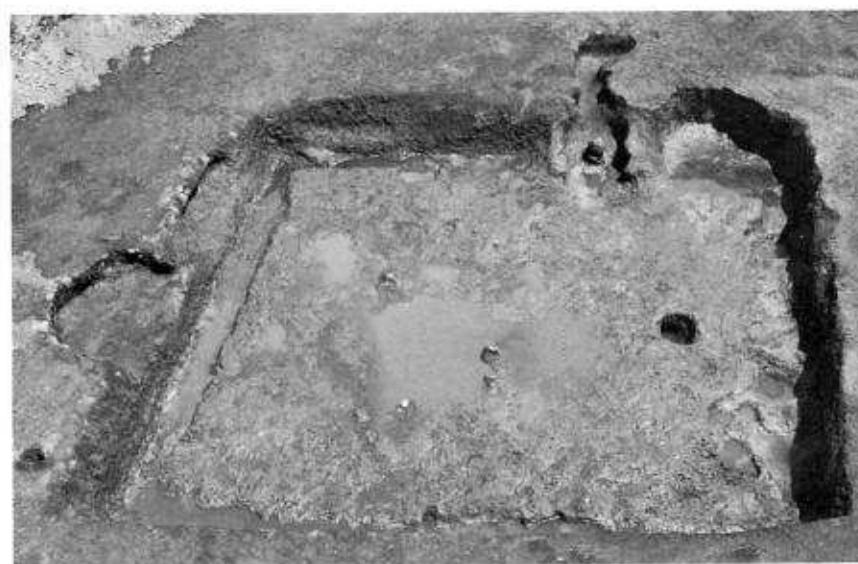




33号住 西から



34号住 西から



35号住 西から

36号住 西から

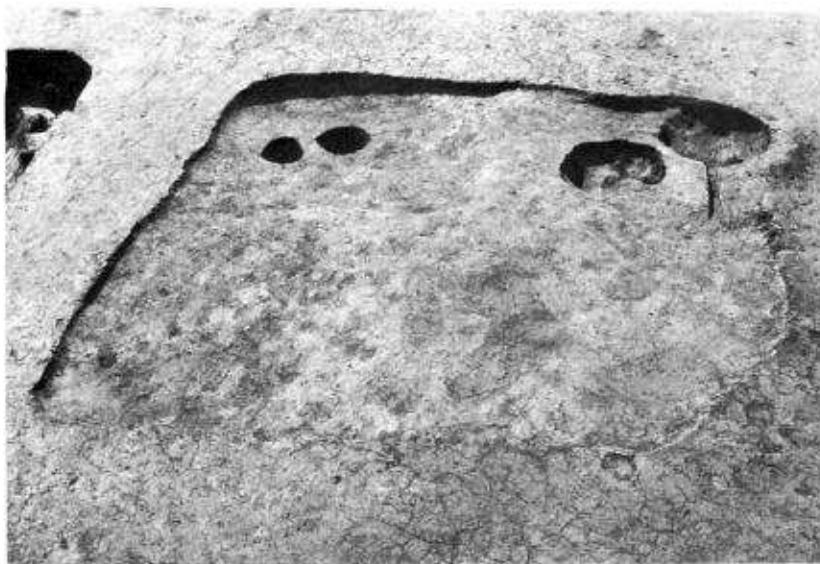


36号住 カマド



37号住 北から





38号住 北から



39号住 南から



39号住
漆器出土状況

39号住

漆器出土状況



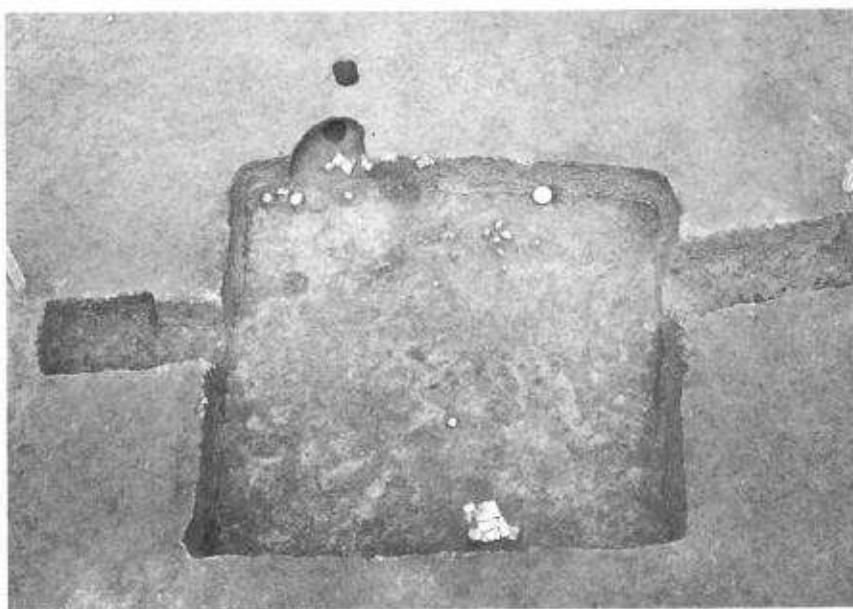
40号住 東から



41号住 北から



42号住 西から



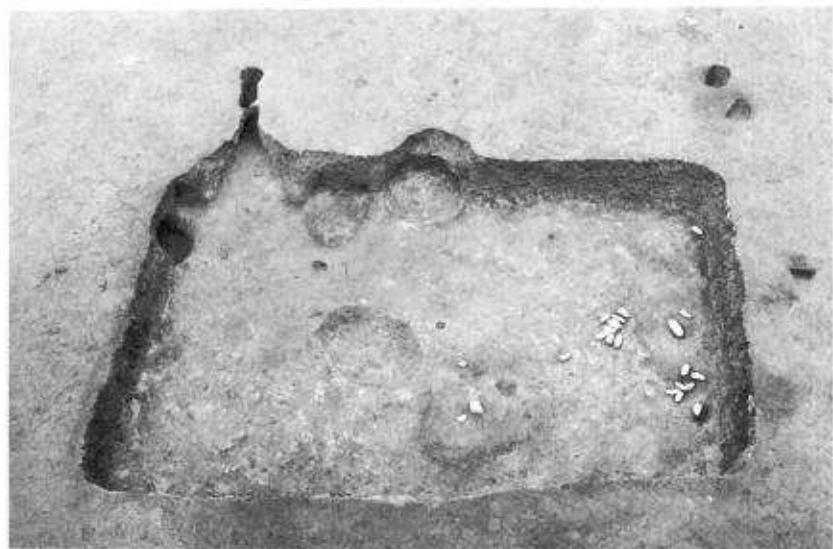
42号住 カマド



6号 穴



43号住 北から



43号住
炉様施設



44号住 南から

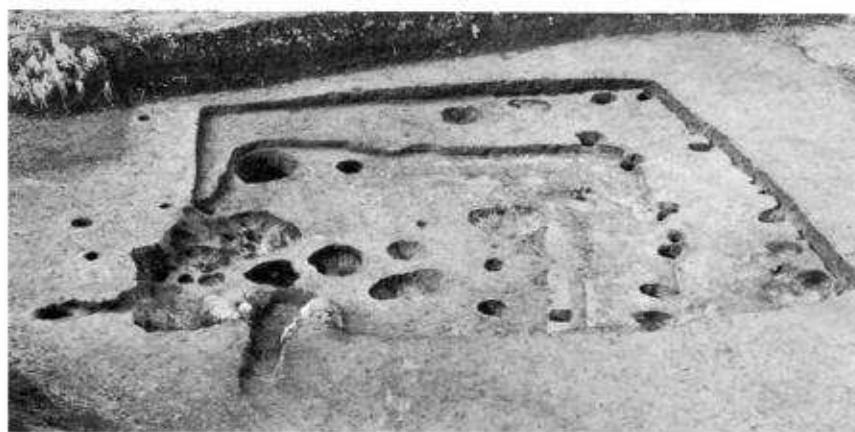




45号住 南から



45号住
炉棧施設



46号-1・2住
東から

46号-2住

炉体片分布状況



46号-2住

カマド



47号住 西から





47号住

遺物出土状況

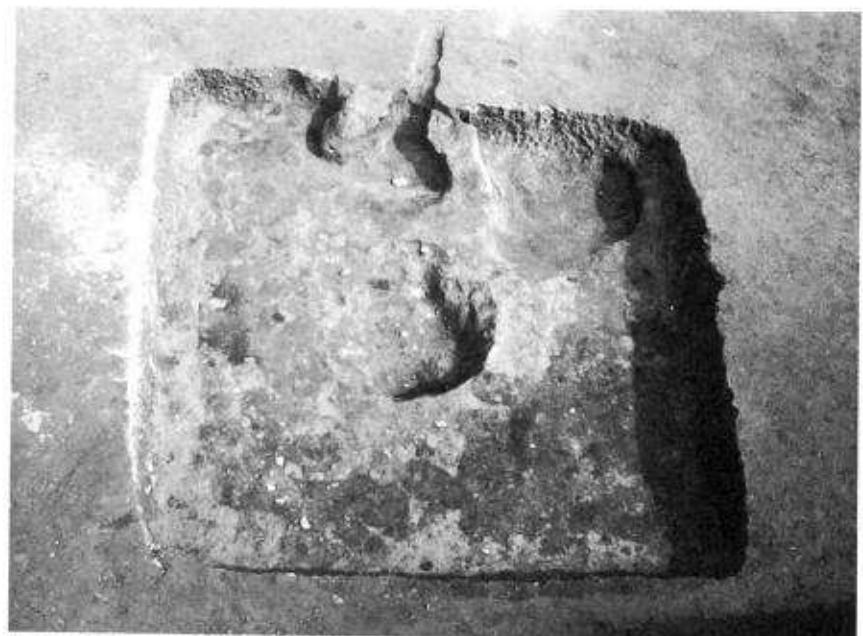


48号住 東から

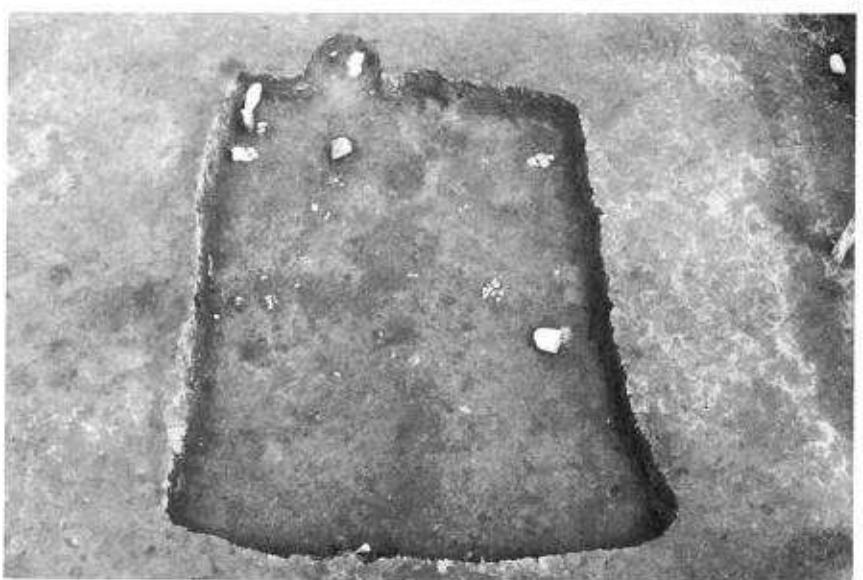


49号住 東から

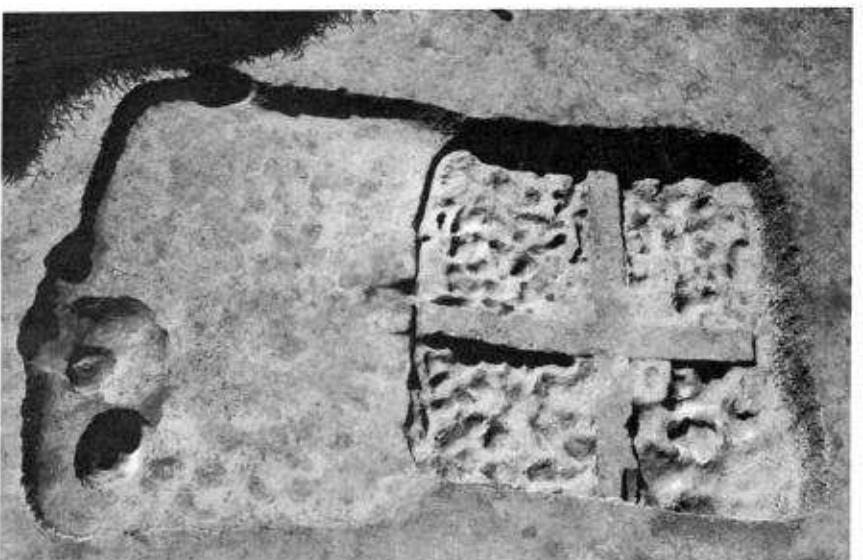
50号住 西から



51号住 西から



左 52号住



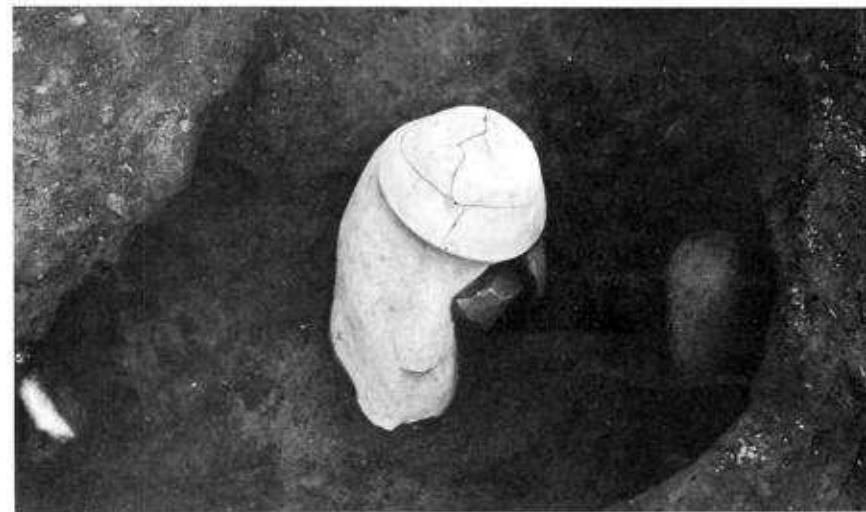
右 10号竪穴
北から



53号住 西から



54号住 西から



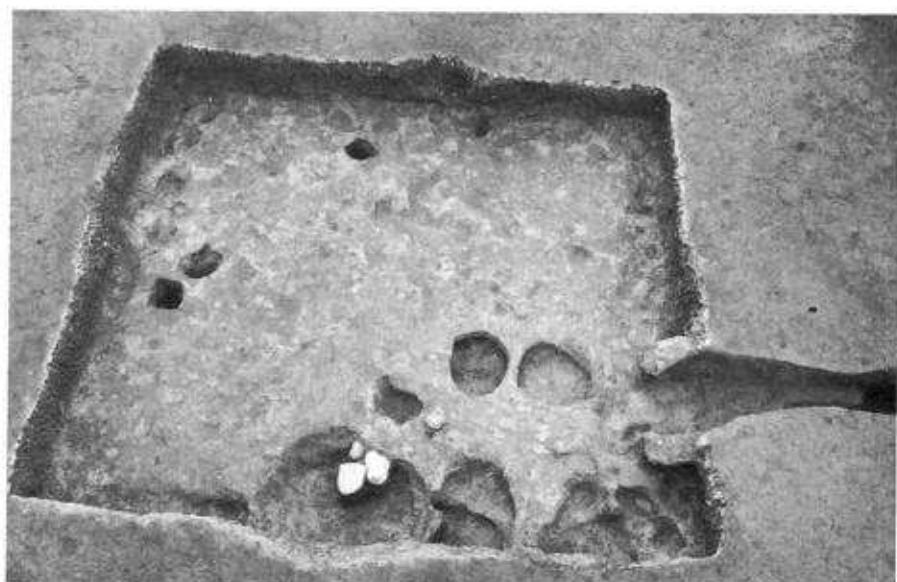
54号住
カマド支脚

54号住

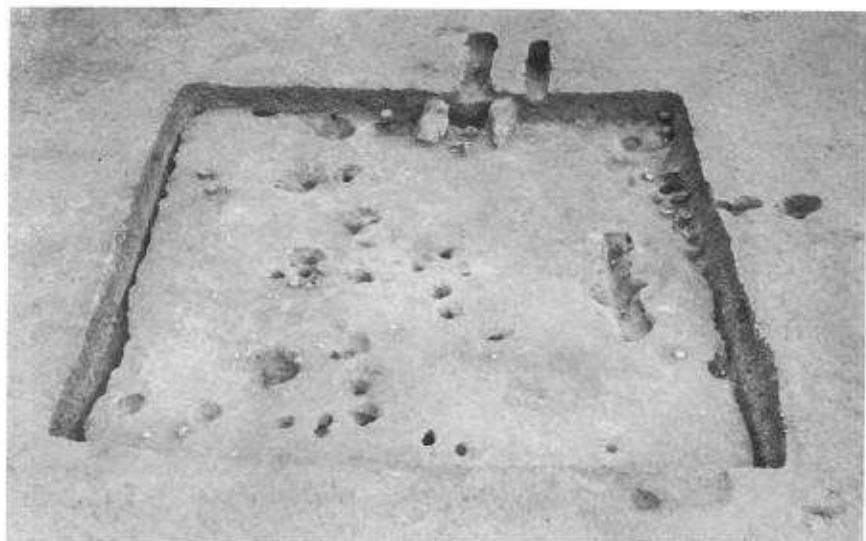
羽口出土状況



55号住 東から



56号住 西から





56号住

紡錘車出土状況

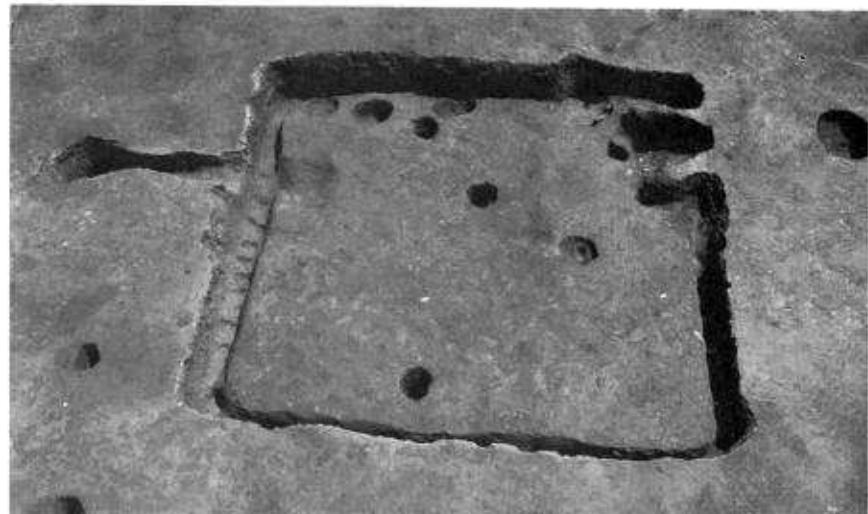


57号住 南から



58号住 西から

59号住 西から



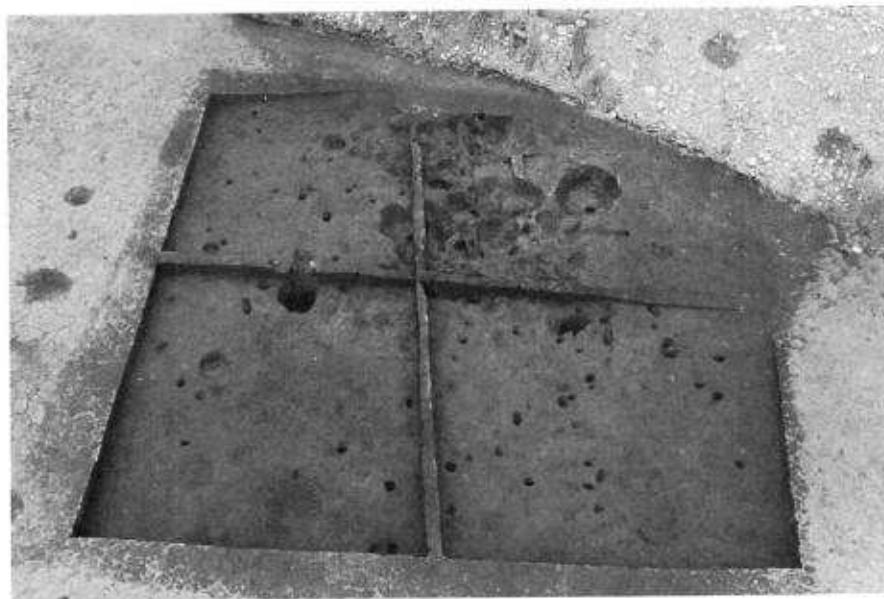
59号住

漆紙出土状況

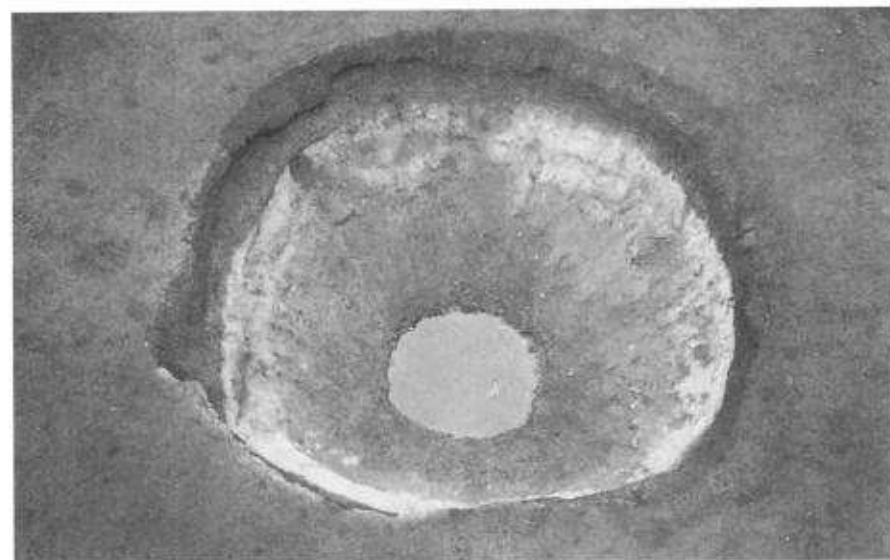


60号住 南から





61号住 南から



井 戸



井 戸 断 面

1号掘立柱建物跡

東から



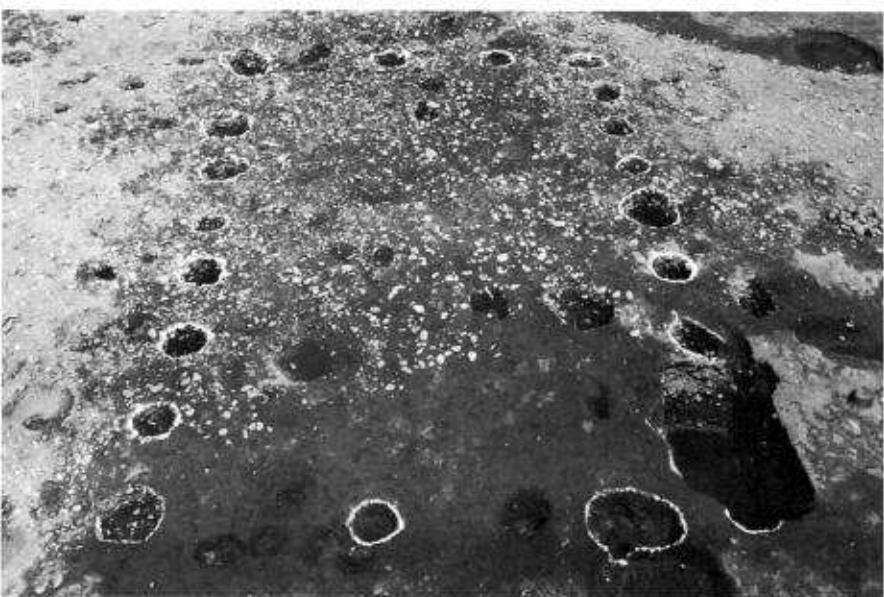
2号掘立柱建物跡

北から



3号掘立柱建物跡

南から





4号掘立柱建物跡
北から



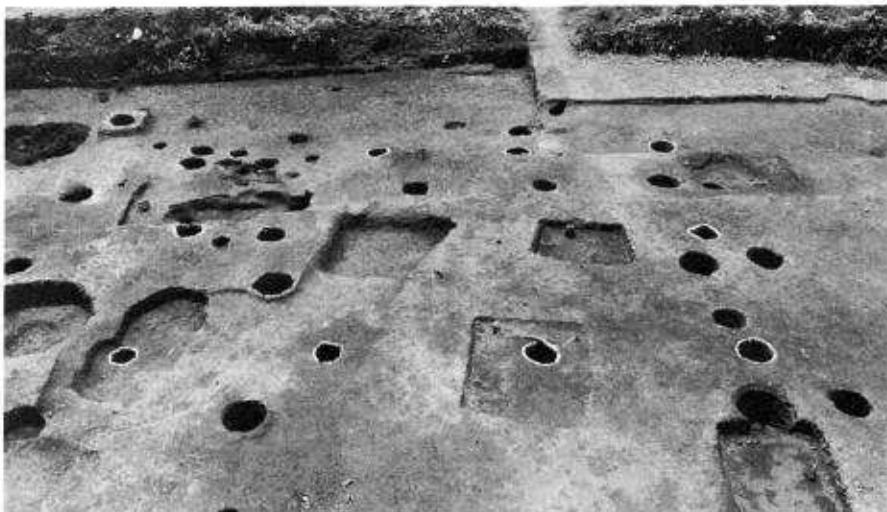
5号掘立柱建物跡
北から



6号掘立柱建物跡
西から

7号掘立柱建物跡

北から



8号掘立柱建物跡

南から



9号掘立柱建物跡

南から

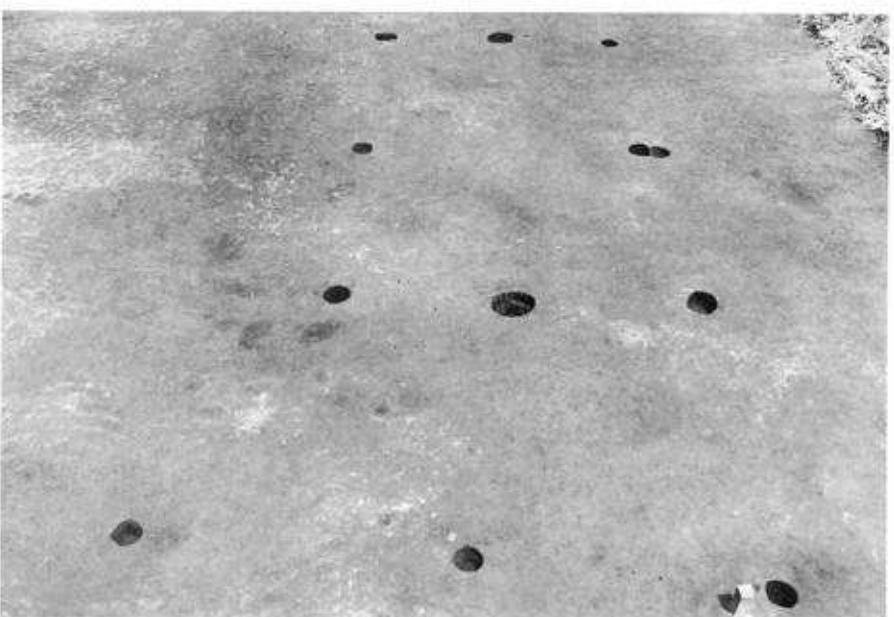




10号掘立柱建物跡
北から



11・12号掘立柱建物跡
北から



13号掘立柱建物跡
南から

14号 捜立柱建物跡

西から



15号—1・2 捜立

柱建物跡

東から



1号 円形土壤





3号円形土壙



6号円形土壙



9号円形土壙

2～8号長方形土壙

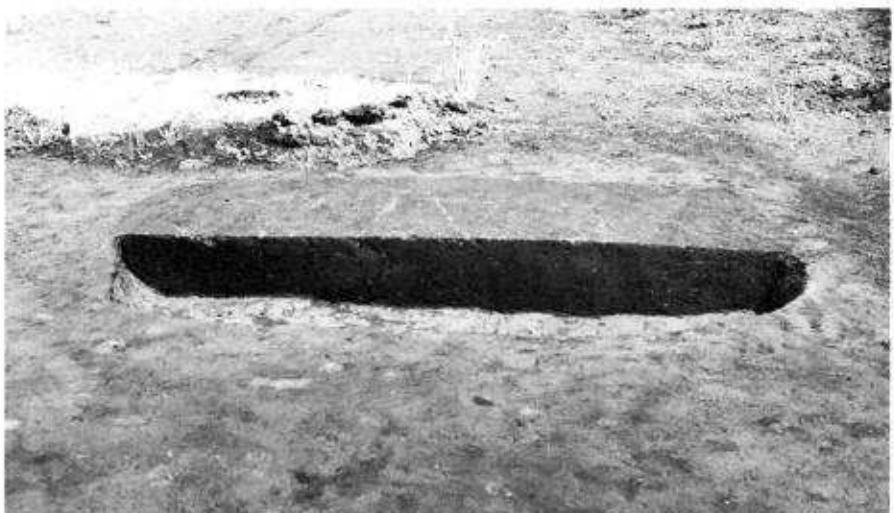
左から

2・3号 4・5号 6号 8号

7号



2・3号長方形土壙



4・5号長方形土壙



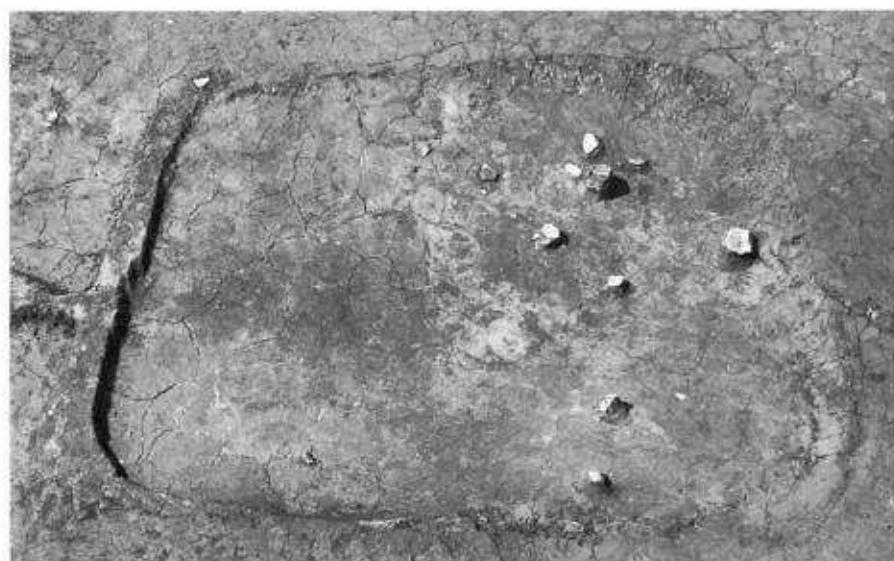
I・2号方形土壙

前 1号

後 2号



3号方形土壙



2号方形竪穴状
遺構



3号方形竪穴状
遺構



1・2・4-9号焼土遺構
東から



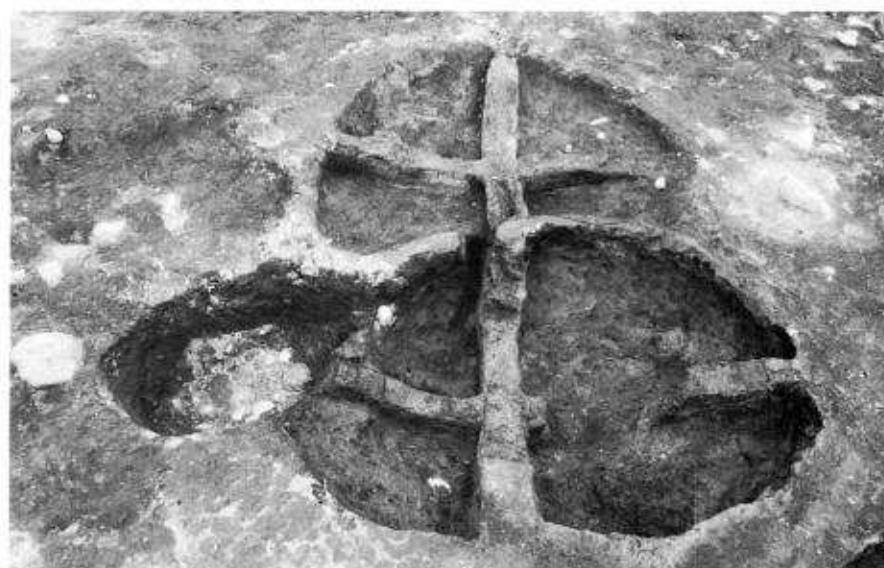
1・2・5・6号焼土遺構
北西から



4号焼土遺構
東から



7・8号焼土遺構
東から



17号焼土遺構



19号焼土遺構

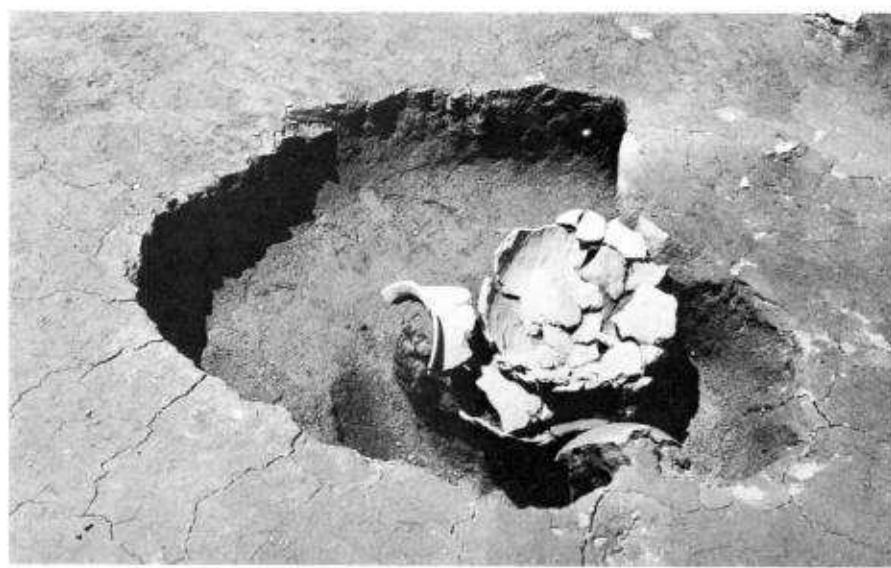


20号焼土遺構



21号焼土遺構





23号焼土遺構



26号焼土遺構
直刀出土状況



32号焼土遺構

2号溝

断面



左 3号溝
右 4号溝

西から



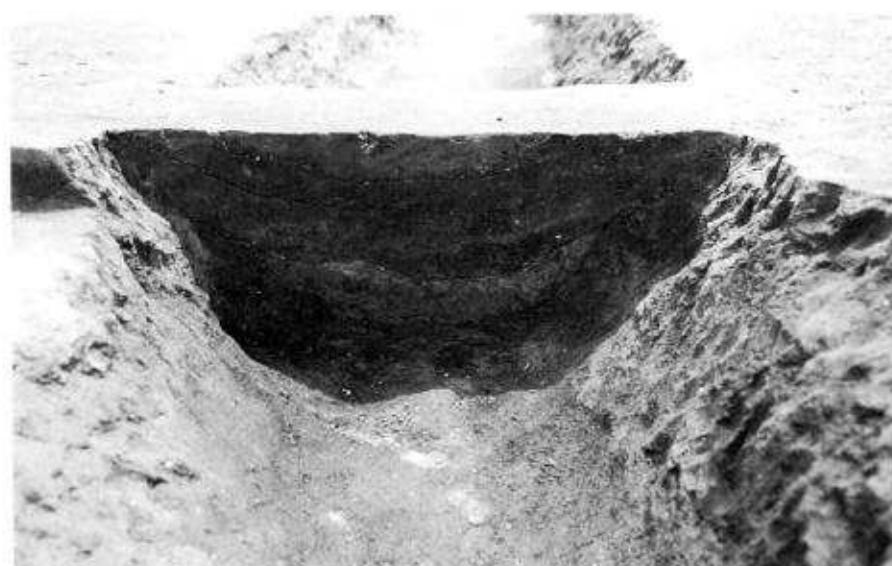
3号溝

断面





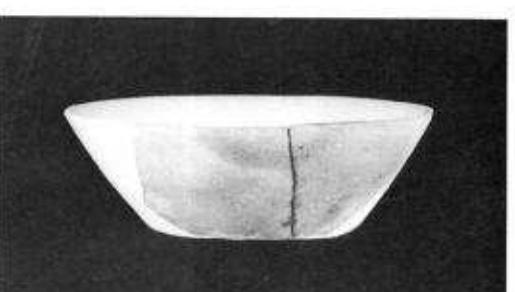
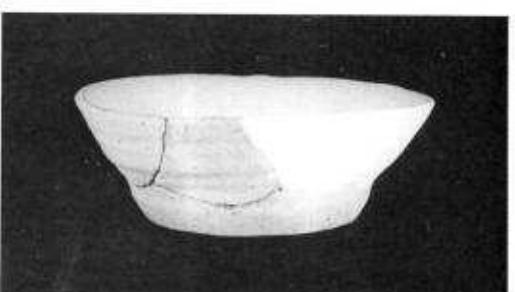
3号溝
断面



4号溝
断面



THII-001住
西方山



1 - 3 … 2号住

4 - 7 … 3号住

8 · 9 … 4号住



10



13



11



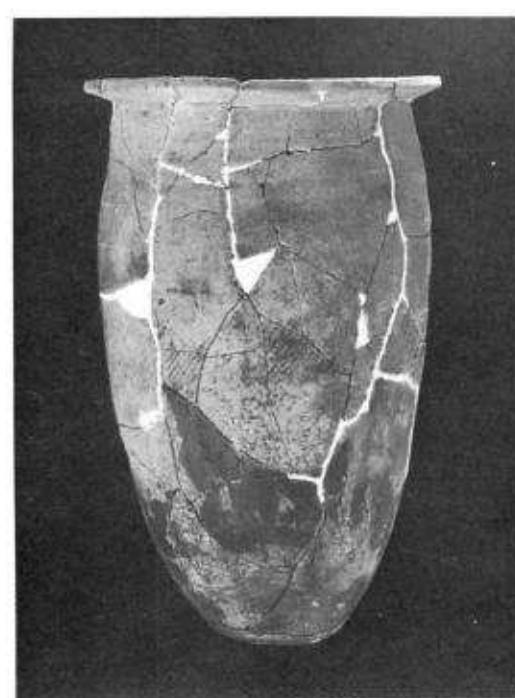
14



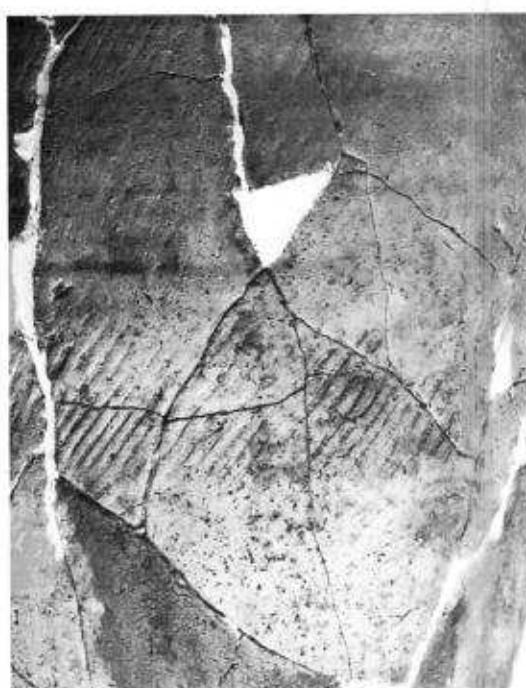
12



15



16



タタキ目拡大図

5号住



17



20



21



18



23



24



19



25

17・18…5号住

19~23…6号住

24・25…7号住



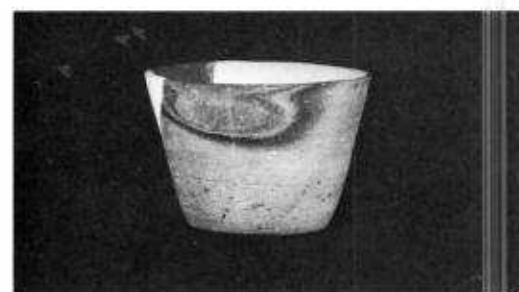
26



31



27



32



28



33



29

34



30

35



36



37

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七

34…馬具 35・37…刀子片 36…釘



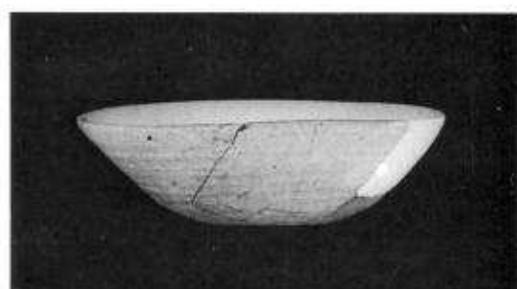
38



45



39



46



40



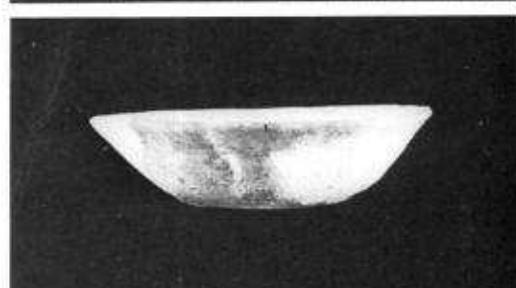
47



41



48



42



43



44

43…刀子 44…鐵鎌頭部片



49

38~44…9号住

45~49…10号-1住



50



57



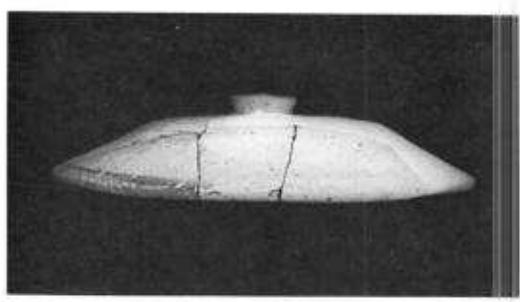
58



51



52



59



54



55



56

51…鏡状製品 52・54…刀子 53…鉄斧

50～52…10号—1住 53・55…10号—2住

55・56…11号住 57～59…12号住



60



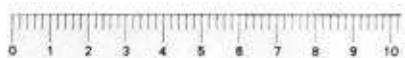
66



61



62



67



63



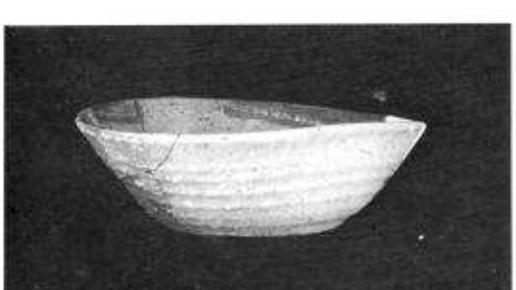
68



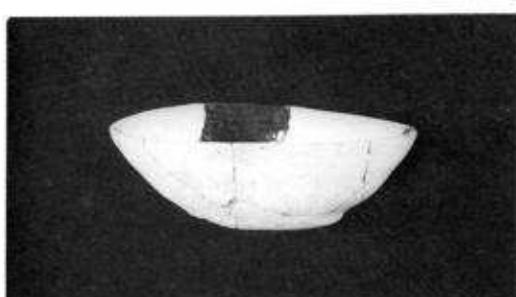
64



69



65



70

61・62…鉄鎌茎部片

63～67…14号住

68～70…15号住

60～62…12号住



71



72



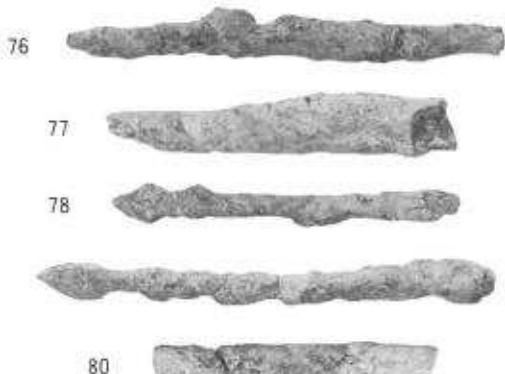
73



74



75



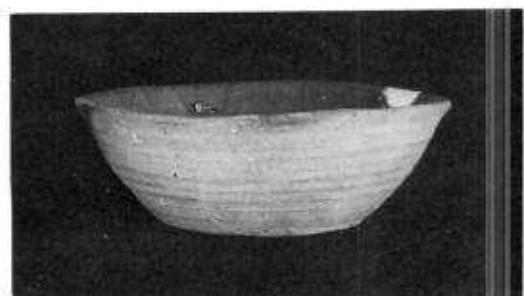
76

77

78

79

80



81



82



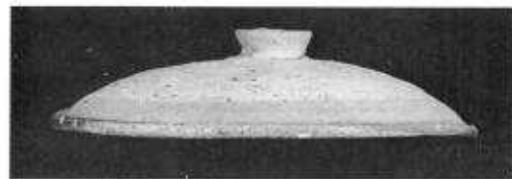
83

75…鉢形土器（須恵器）

76・77・80…刀子 78・79…鐵鎌

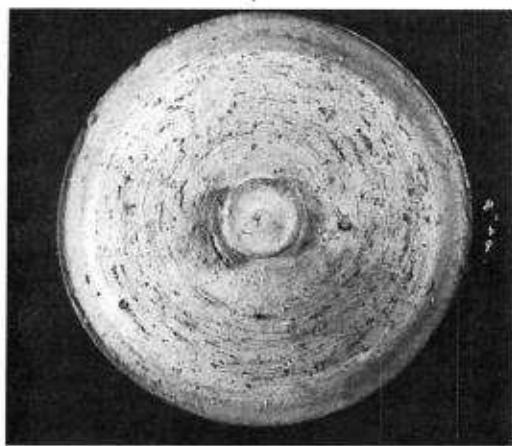
71～80…15号住

81～83…16号住

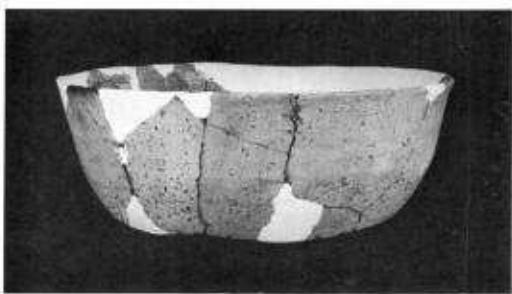


84

1



85



86



87



88



89



90



91



92

84~86…16号住

87~92…17号住

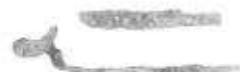


93



97

98



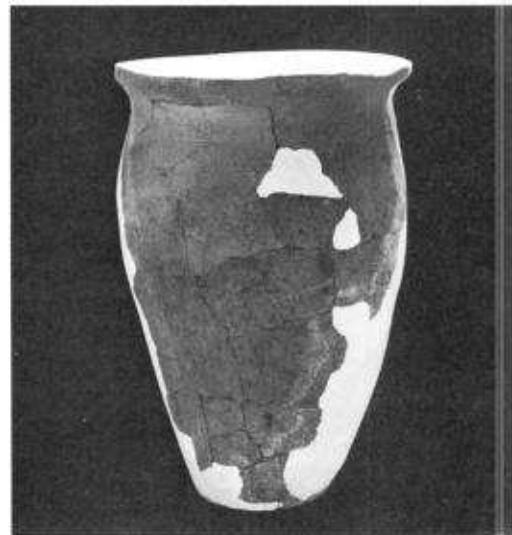
99



100



101



102



94



95



96

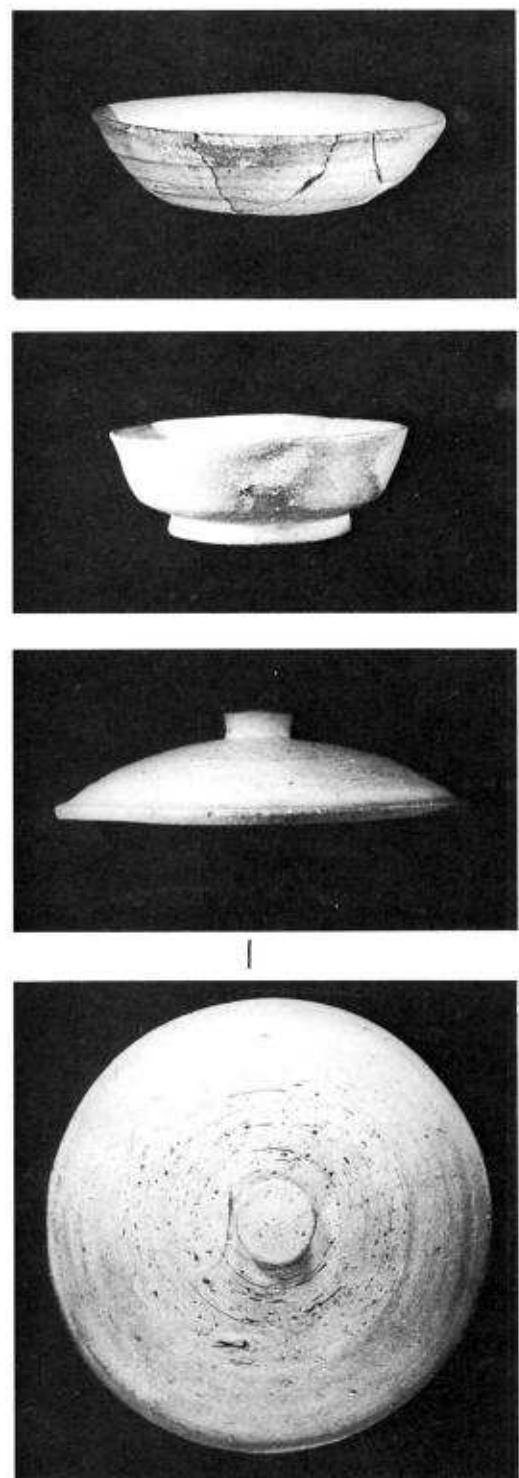
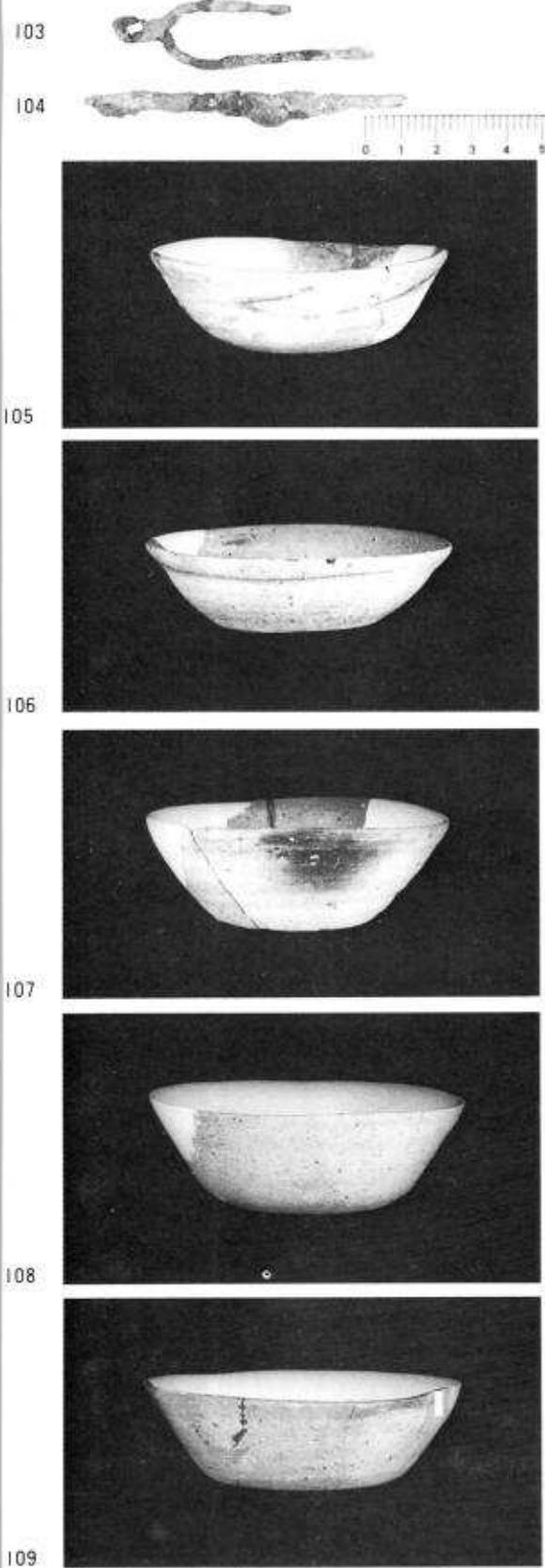
93・94…17号住

95～98…18号住

99～102…19号住

98…攝子 102…直刀





103…攝子 104…鉄鎌

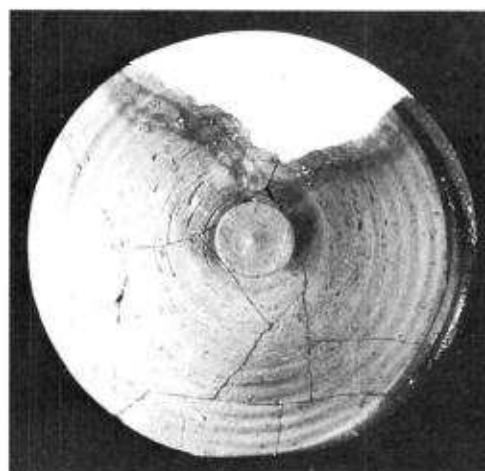
103・104…20号住 105…21号住
106—110…22号住 111・112…23号住



13



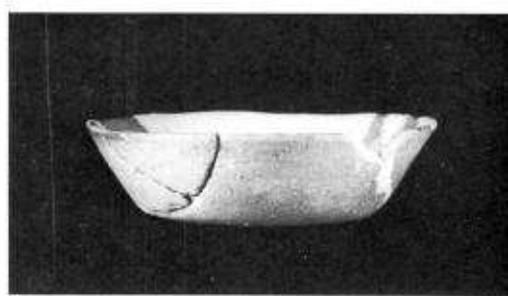
117



1



14



15



16



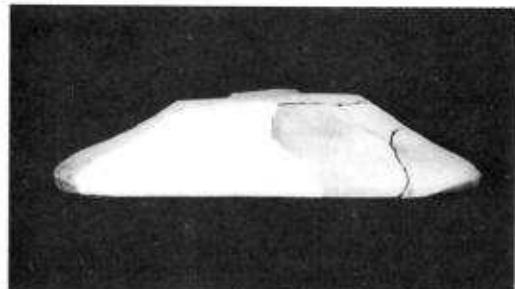
118



119

113-23号住 114-24号住

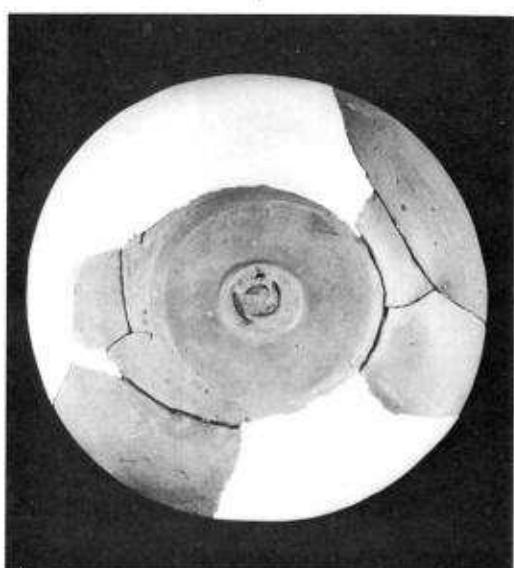
115-118-25号住



20



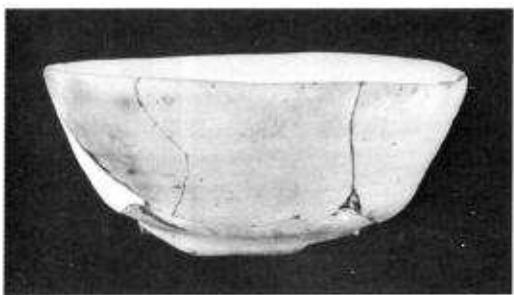
123



21



124



22



122…鉄鐵
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

122…鉄鐵

120・121はセット（土師器）

120～123…26号住



125

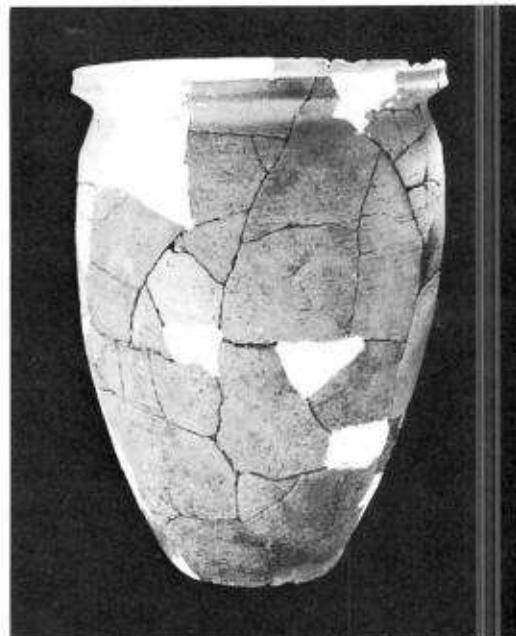
124・125…27号住



126



127



131



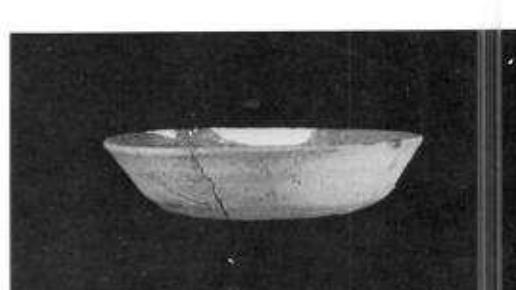
128



132



129



133



130



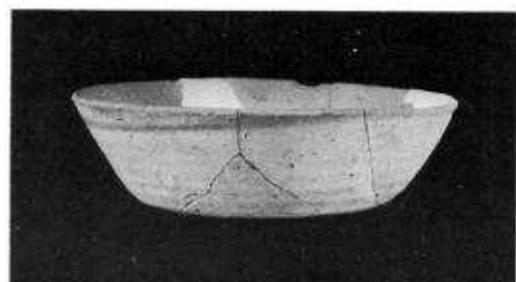
134

126-127…28号住 128…29号住

129-131…31号住 132-134…32号住



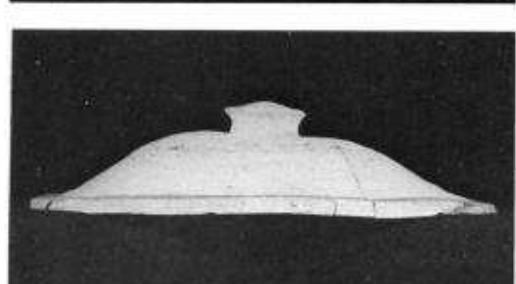
35



142



6



143



7



144



138



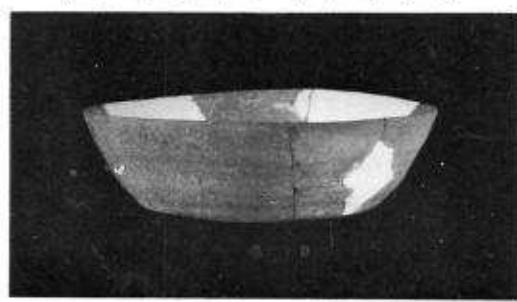
139



140



145



135-140…32号住

138…釘状製品

139…釘状製品

140…刀子片

141-143…33号住

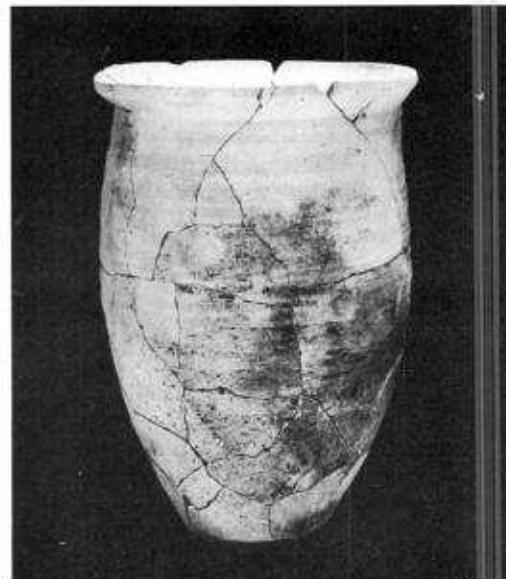
144-146…35号住



146



147



152



148



153



149

0 5 10



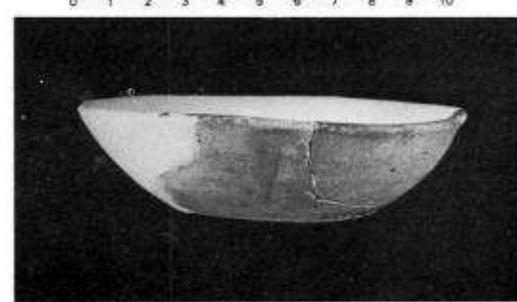
150

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



154

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



151

149…不明鐵製品 150…攝子

154…鐵鏟

156…刀子

147～150…36号住 151～154…37号住

155・156…38号住



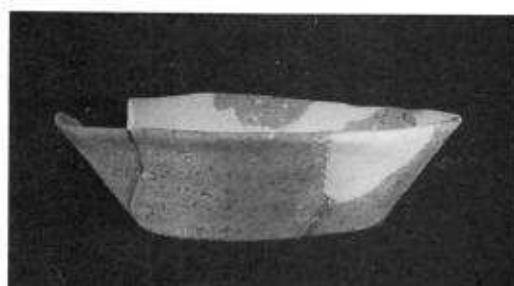
155

156



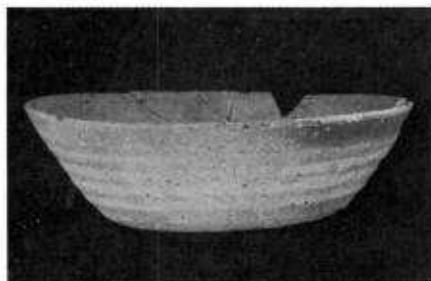


160



161





172



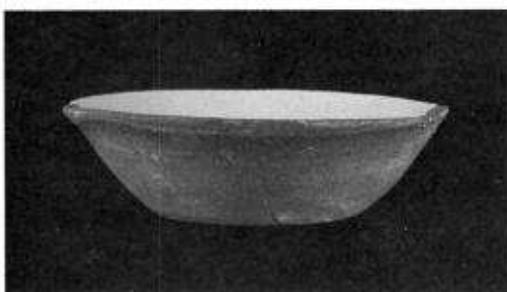
173



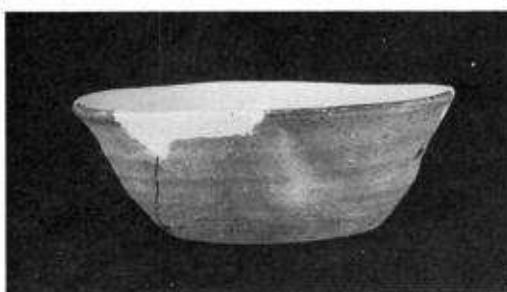
174



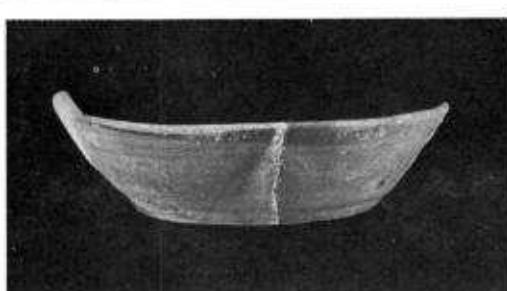
175



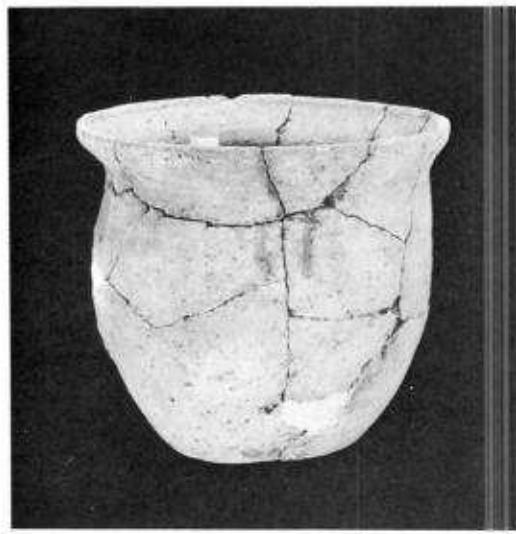
176



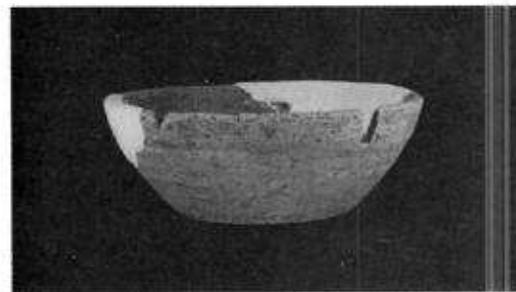
177



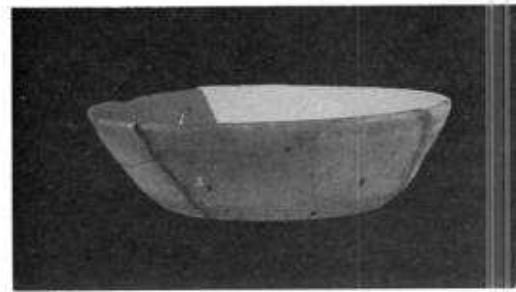
178



179



180



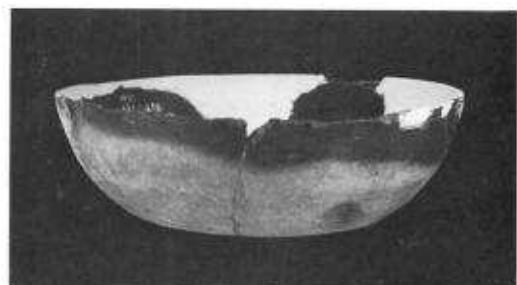
181



182

172~174…42号住 175(釘状製品)…44号住

176~180…46号住 181, 182…47号住



183



184



185



186



187



188



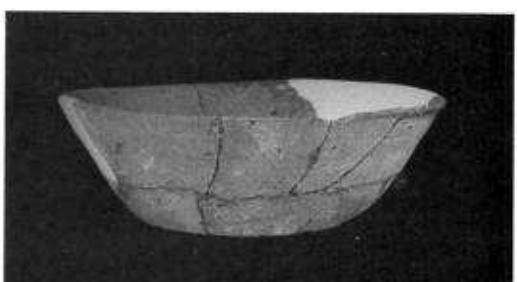
189



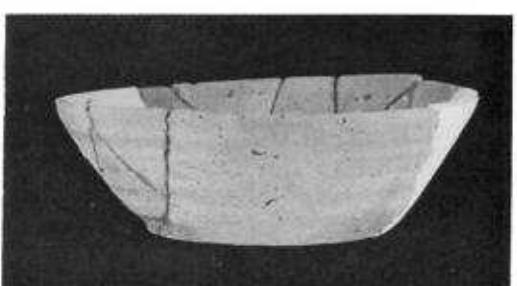
190



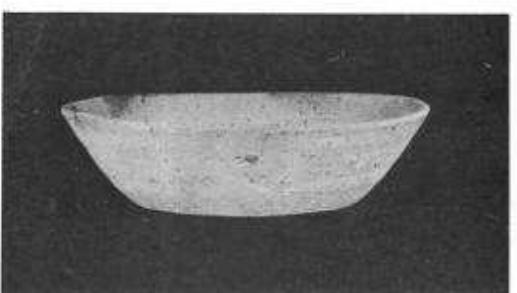
191



192



193



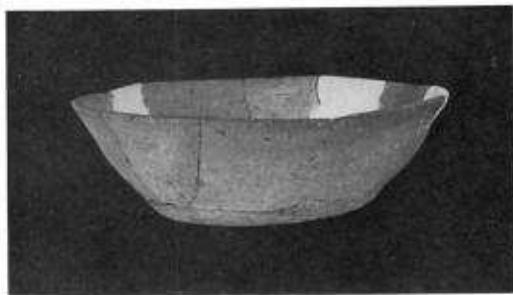
195

185・186…鉄鏃 187…不明(3個体合体)

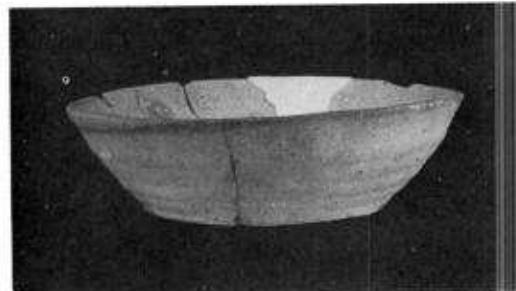
188～190…刀子

183～185…47号住 186～189…50号住

190～51号住 191～53号住 192～196…54号住



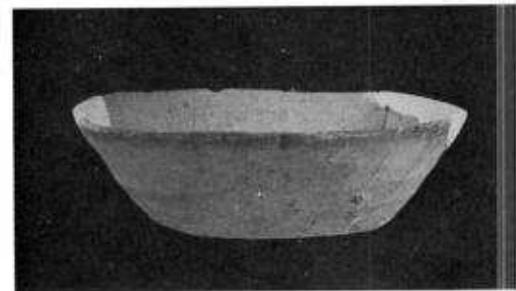
197



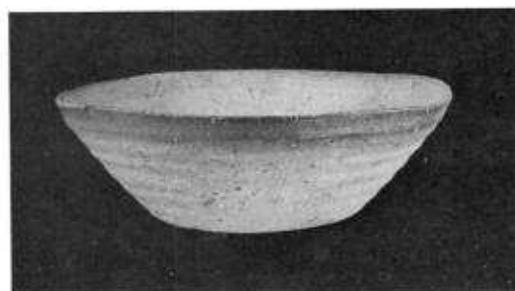
202



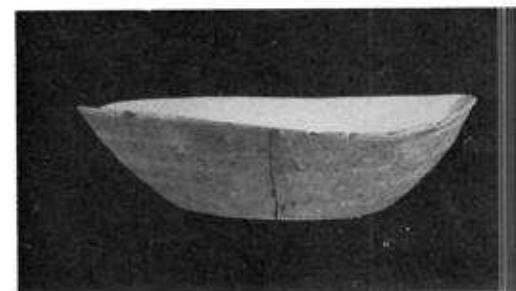
198



203



199



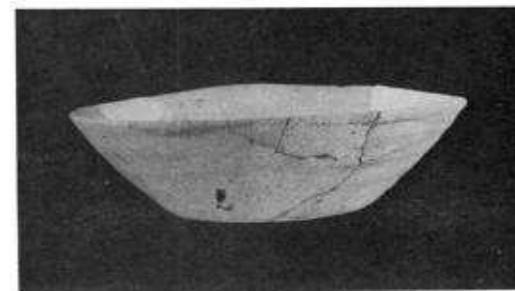
204



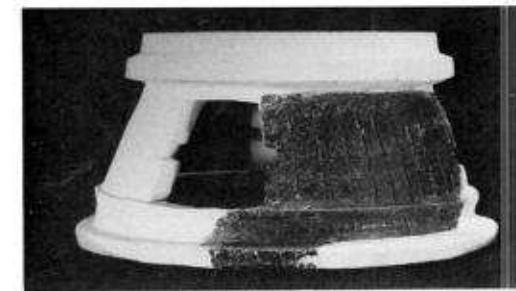
200



205



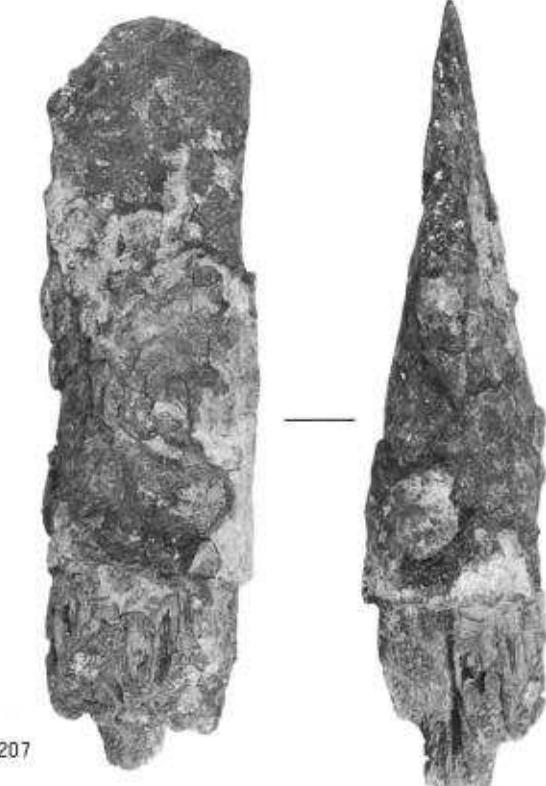
201



206

197～55号住

198～206～56号住



207

212



208

213



209



210

211

214



207~211…56号住

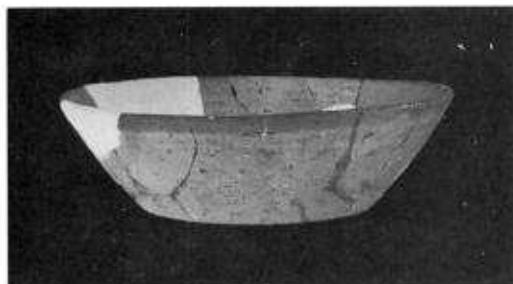
207…鉄斧 208…紡錘車

209·210…鉄鎌 211…土鍤

212…57号住

213…59号住

214…61号住



5



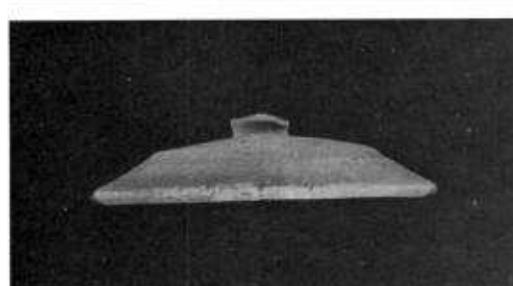
222



16



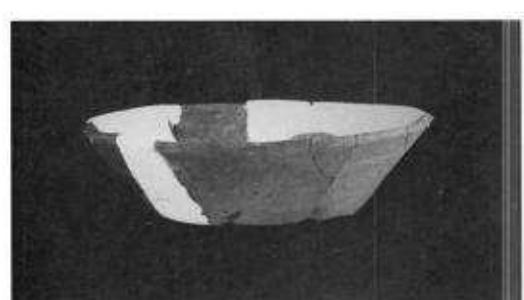
223



17



18



224



225



218

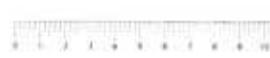


219

220



221



218-219…刀子 220…鉄鎌

221…搔子 224…環状製品

215-221…6号竪穴

222-224…7号竪穴 225-226…9号竪穴



27



235



228



229



230

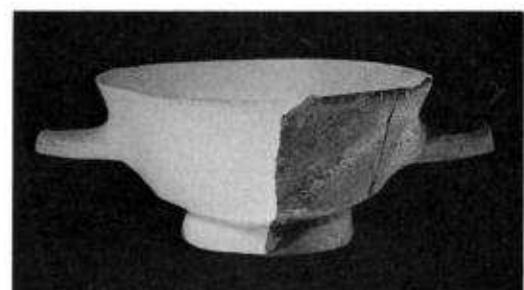


231



232

236



233



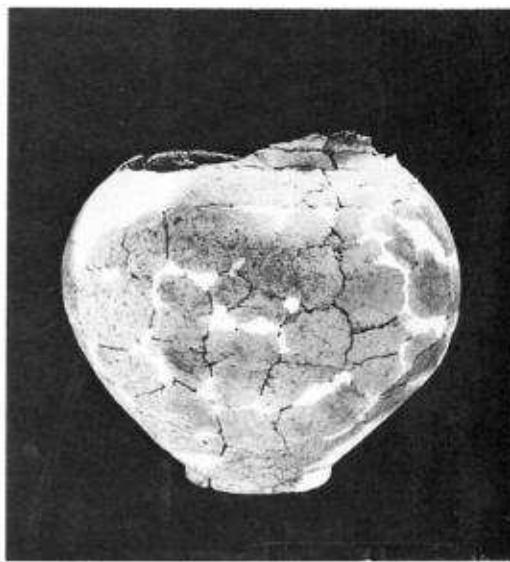
237



238



239



34

227…138号住 228…5号掘立柱建物跡

228・237…鍍状製品

231・232…A124焼土付近

229・230…1号方形土壤

235…32号焼土遺構

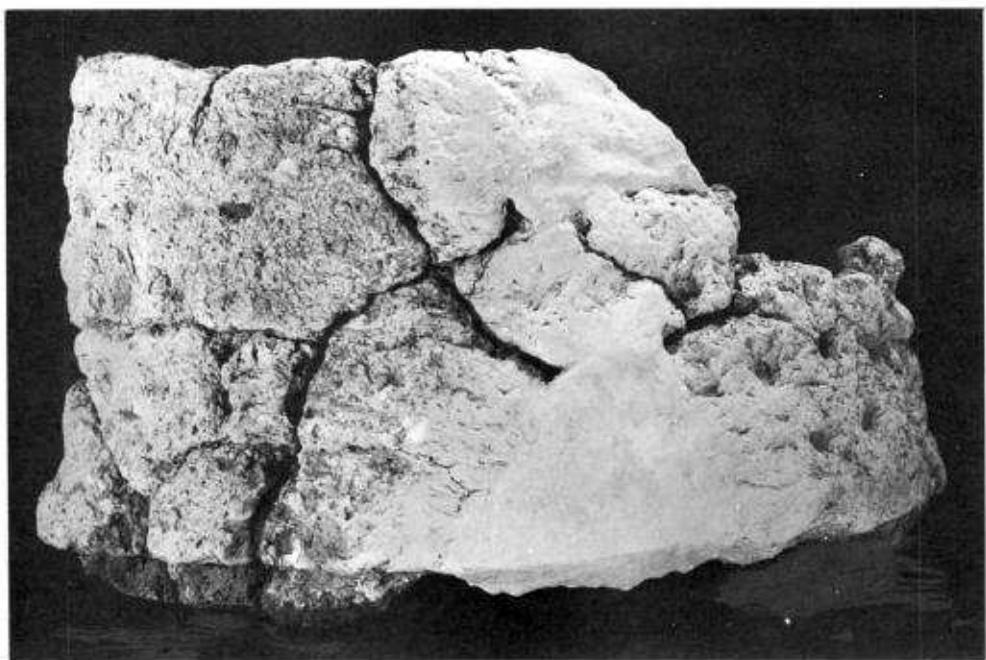
233…26号焼土遺構

234…22号焼土遺構

236…Q12グリッド

237…表採

238・239…出土地点不明

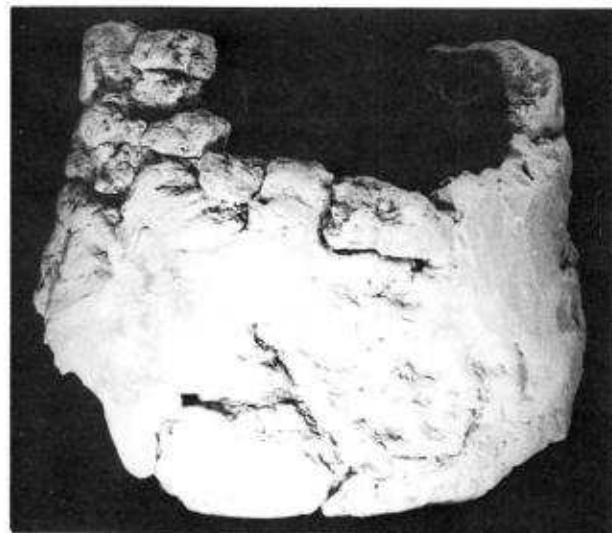


↑
断面は下方から。
炉の下端部に近い。

← 内面—断面—外面
厚さ・溶鉄滓量からみ
て下端部に近い。

No.240の上方部分

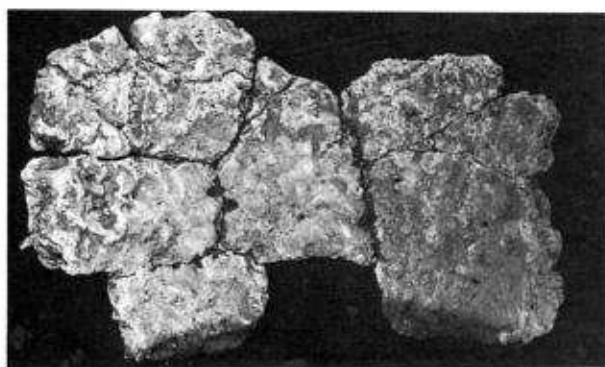
壁肉が薄くなり、付着溶鉄
滓量が激減する。

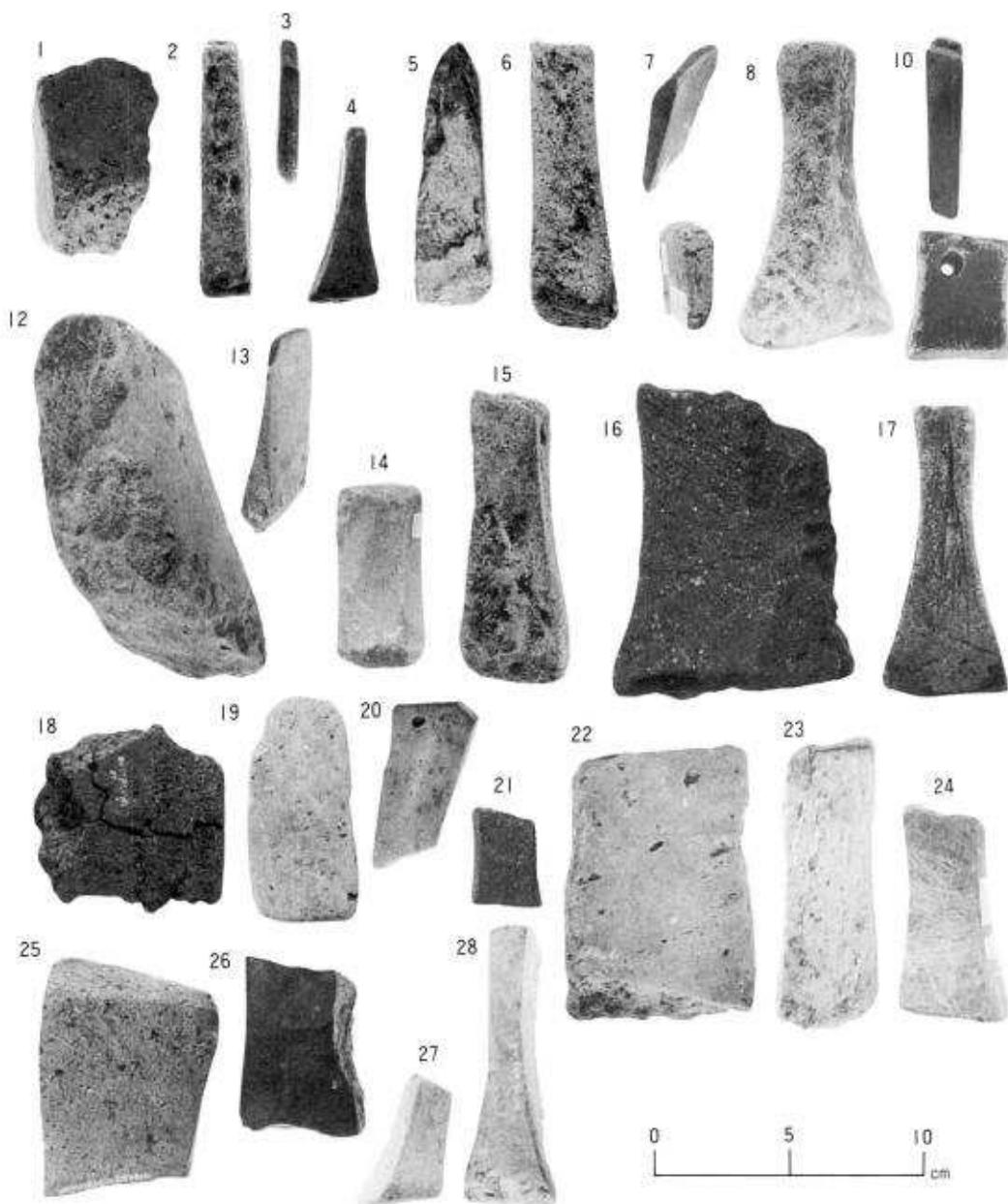


← 中間部分の炉壁片

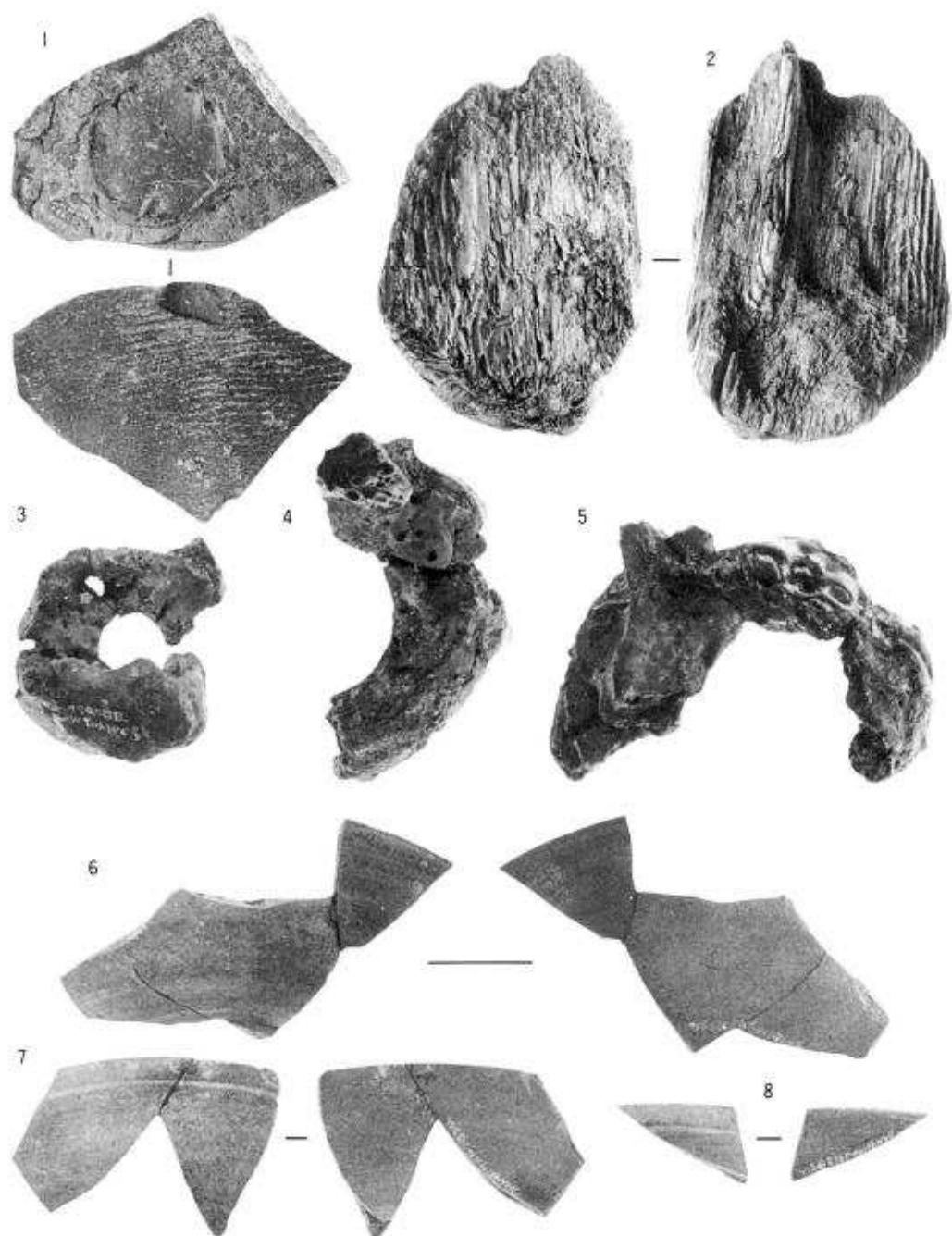
内側に付着する溶鉄滓量は
下方部分より少なくなる。

縮尺・任意





1	4号住	12	29号住	23	109号(H f 71)住
2 · 3	8号住	9	35号住	24	147号(Jg06)住
4	10号 - 1住	13 · 14	46号住	25	2号方形竖穴状遺構
5	15号住	15	48号住	26	検出面出土
6 ~ 8	19号住	16 ~ 18	51号住	27	出土地不明
10	22号住	19 - 21	54号住	28	出土地不明
11	24号住	22	59号住		



1 … 燒物台(須恵器壺片)・19号住出土

2 … 柱痕・5号据立柱建物跡出土

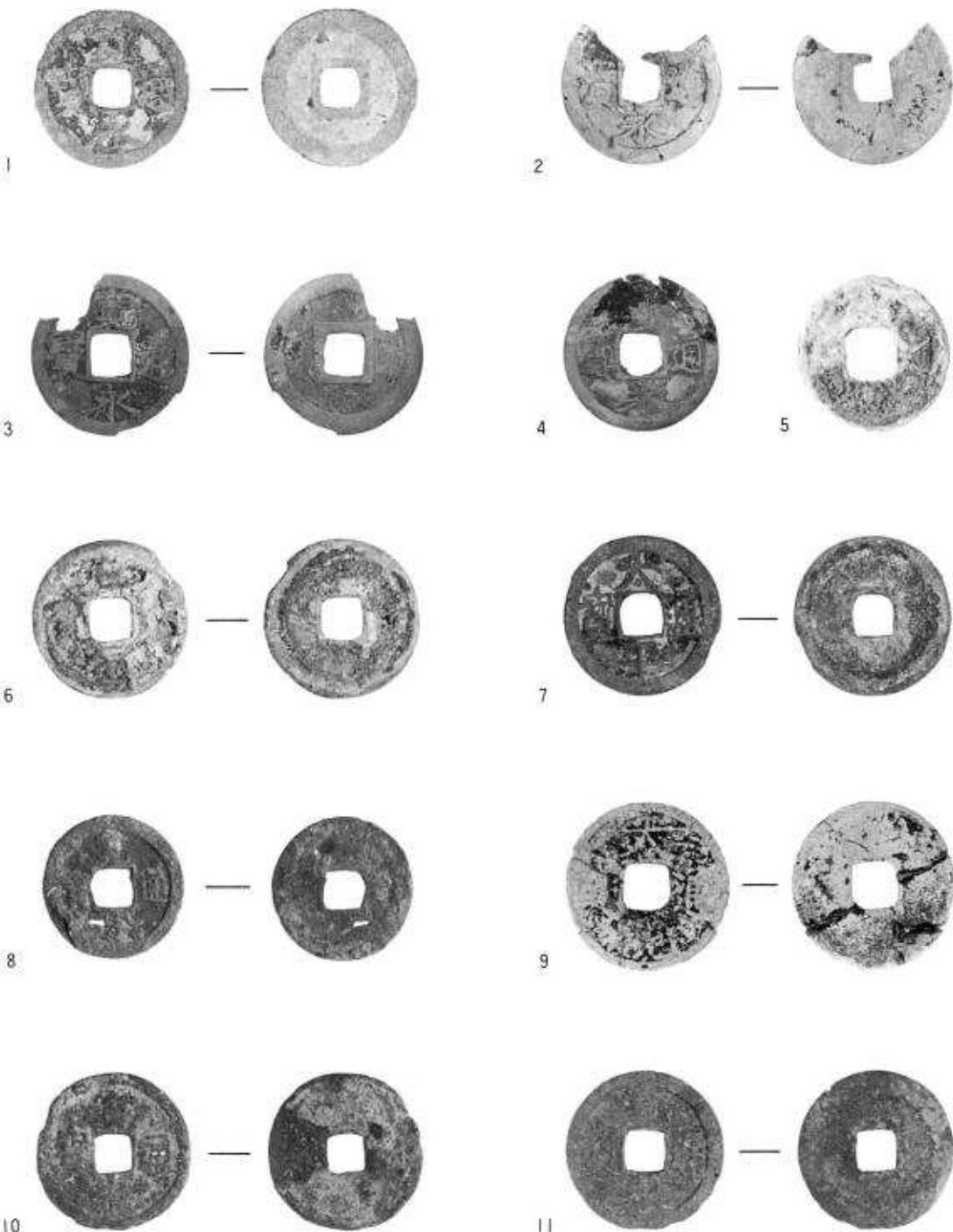
3 … 鞦の羽口・54号住出土

4 … 鞦の羽口・46号住出土

5 … 鞦の羽口・47号住 + 49号住

6-8 … 緑釉陶器・THo-001住出土

(スケール任意)



1 9号住…寛永通宝

2 67号住…寛永通宝

3・4 5号住…寛永通宝

5 B h 77グリッド……不明

6 B h 77グリッド…昭聖元宝

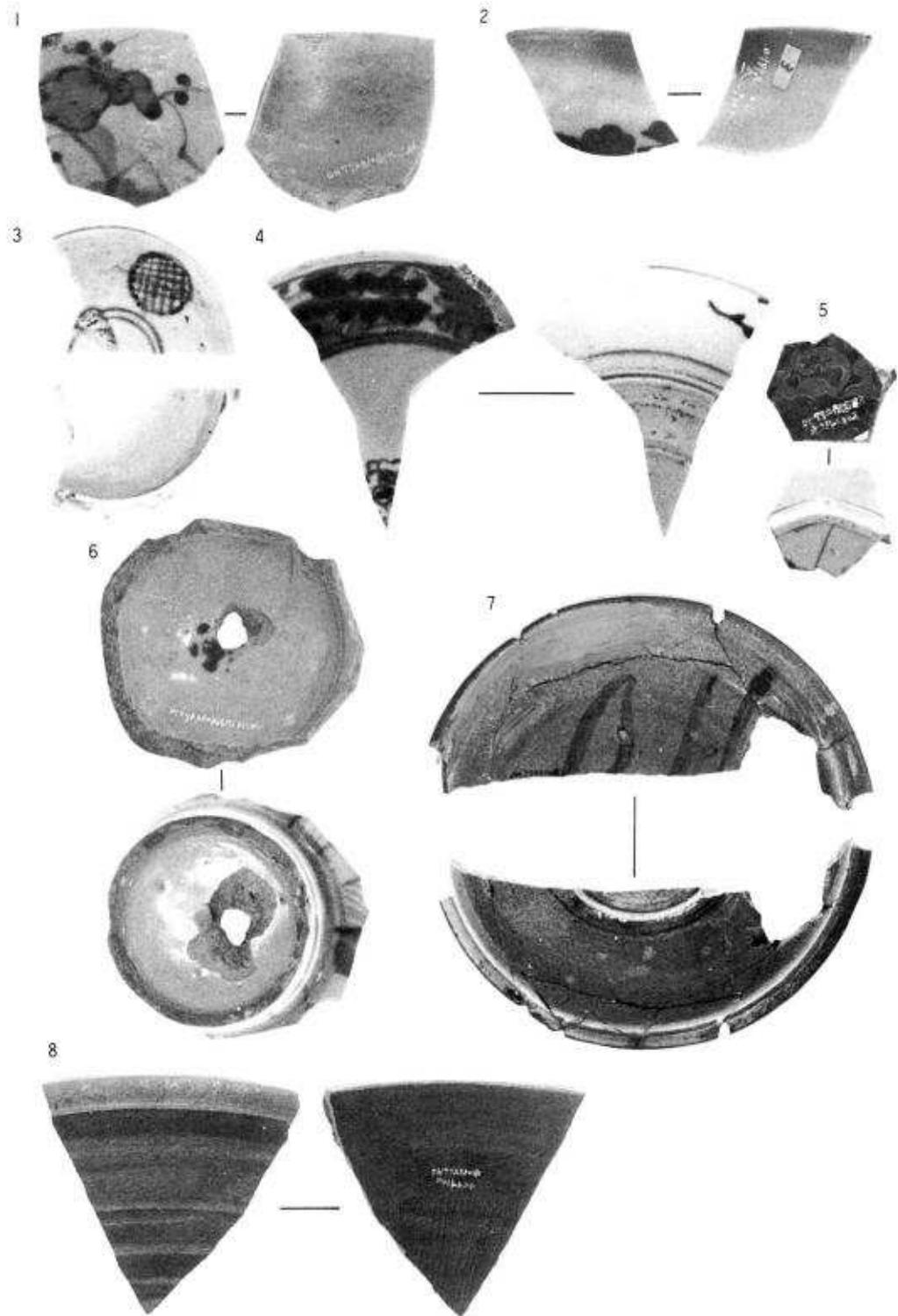
7 B h 77グリッド…太平通宝

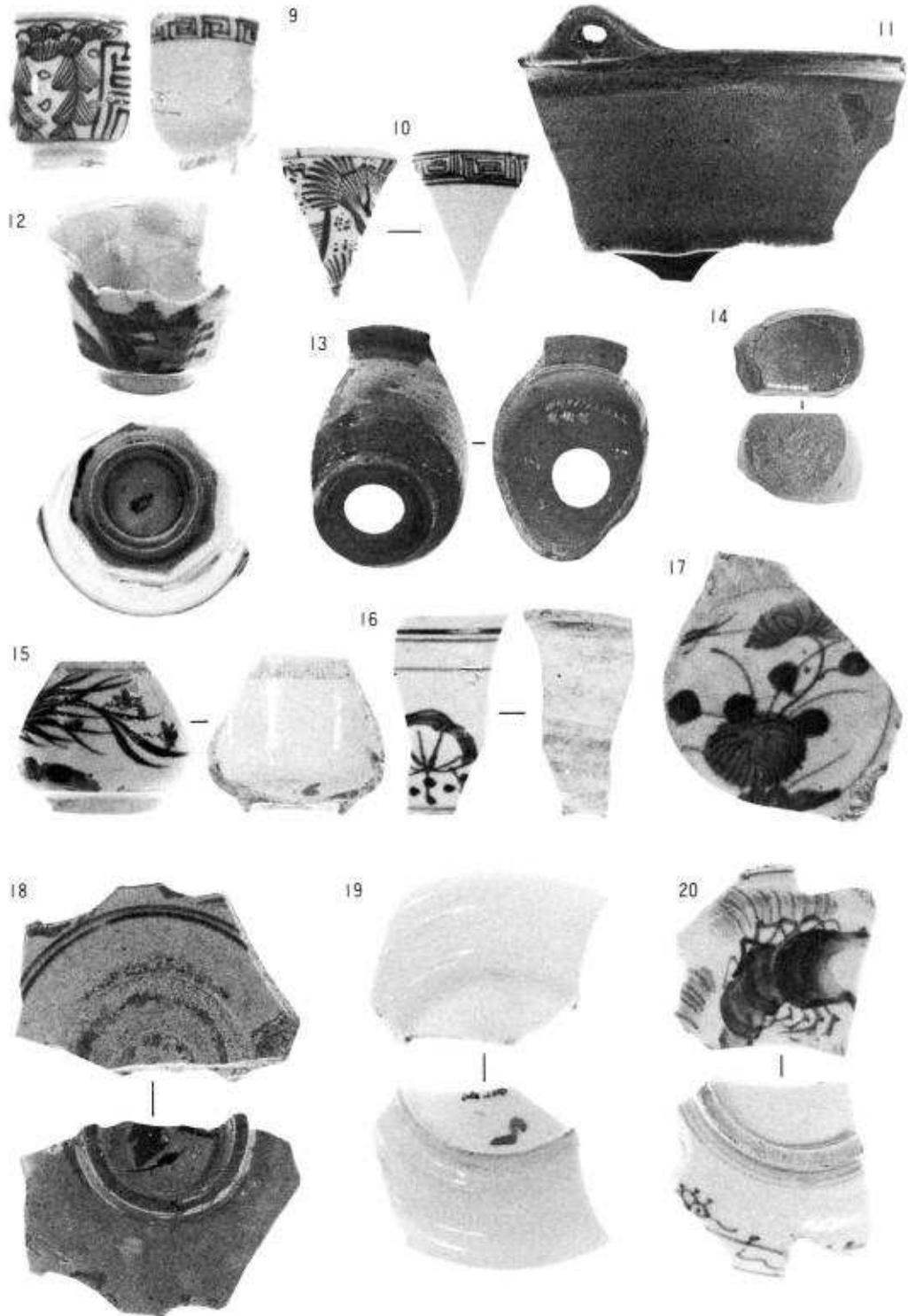
8 3号方形豊穴状遺溝…寛永通宝

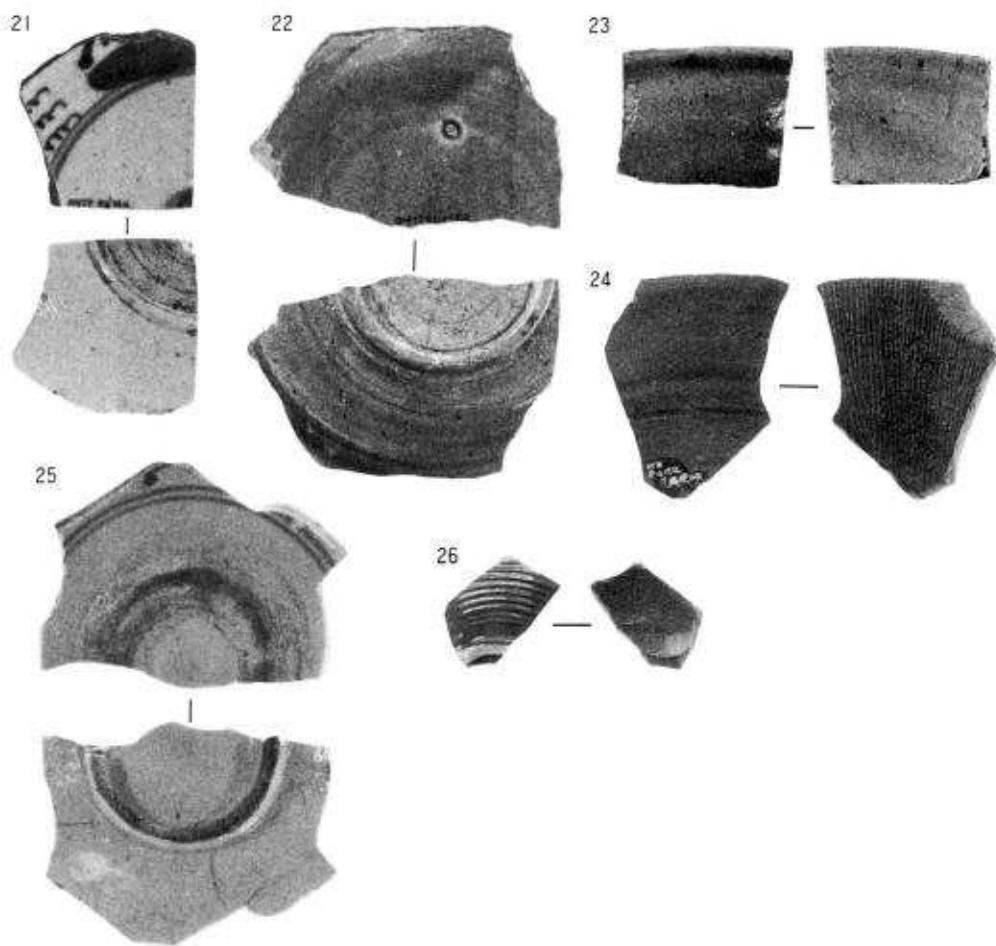
9 B d 09グリッド…大觀通宝

10 A ブロック…寛永通宝

11 出土地点不明…寛永通宝







1 - 8 A ブロック

9 - 11 6号住

12 42号住

13 46号住

14 61号住

15 - 20 5号掘立柱建物跡

21 - 22 3号方形竪穴状遺構

23 3号溝

24 耕地付近

25 - 26 出土地不明

岩手県教育委員会事務局文化課職員一覧

(理蔵文化財関係)

文化課長	熊谷正雄	村井 隆
課長補佐(総務)	鎌田 良悦	小林 史子
同(文化財)	服部 宛郎	村上 良子
庶務係長	鈴木 康之	小林 三千江
主 事	佐藤 伸一郎	菊池 純子
同	佐藤 貞行	鈴木 櫻子
主任文化財主査	菊地 郁雄	秋葉 良子
技 師	佐々木 勝	黒田 アヤ子(10月退職) 長坂 麗子(10月退職)
縦貫自動車道調査班		
主任文化財主査	吉田 努	及川 審子(10月退職)
文化財主査	齋藤 淳	前川 みどり
同	昆野 靖	佐々木 智子
同	相原 康二	堀間 好子
同	八重樫 良宏	寺島 憲子
文化財調査員	狩野 敏男	真田 和子
同	田村 壮一	細矢 篤子
主 事	石川 長喜	吉田 和子
臨時職員	桜井 芳彦	小山田 裕子
	高橋 生子	吉鳴 登子(1月退職)
	小西 エイ子	佐々木 るい子
	漆原 悅子	
	龟ヶ森 恭子(5月退職)	
	藤原 周子(6月退職)	
	後藤 裕子	
	石田 千鶴子	

岩手県文化財調査報告書第68集
東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIII

昭和57年3月30日 発行

発行 岩手県教育委員会
盛岡市内丸10-1

印刷 株式会社 熊谷印刷
盛岡市上田一丁目6-49 ☎ 53 4151
